

Japanese Association for Health Care Administrators

第24回

日本医療経営学会

学術集会・総会

プログラム
・抄録集

新しい病院経営のゆくえは
～時代の変遷を見据えて～

開催日

2025 年 11 月 7 日 (金)・8 日 (土)

会場

カレスホール

(札幌市東区北 6 条東 3 丁目 1 番地 1 カレス記念病院 3 階)



Japanese Association for Health Care Administrators
一般社団法人日本医療経営学会



第24回 日本医療経営学会学術集会・総会

テーマ

新しい病院経営のゆくえは ～時代の変遷を見据えて～

会 長 中林 梓（株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長）

会 期 2025 年 11 月 7 日（金）～ 11 月 8 日（土）

会 場 カレスホール（カレス記念病院 3 階）

ご挨拶



第24回日本医療経営学会 学術集会・総会

会長 中林 梓（株式会社ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長）

第24回日本医療経営学会学術集会・総会を2025年11月7日（金）午後及び8日（土）札幌にて開催する運びとなり、私中林梓が大会長を拝命することになりました。会場は2025年4月に新築移転となりました、社会医療法人社団カレスサッポロの大城理事長のご厚意で、カレス記念病院3階カレスホールを使用させていただくことになりました。最新のホールの見学とその機能に触れることを楽しみにしています。

2024年のトリプル改定は様々な分野に大きな影響のある改定でした。ベースアップ評価料の解りにくさ、急性期医療の定義を変えようという趣旨が明確であったこと、下り搬送や介護保険施設における協力医療機関の仕組み等、新たな連携のあり方も出てきました。回復期リハビリテーション病棟の体制強化加算の廃止や療養病床の中心静脈栄養への厳しい対応等もあり、これからの病院経営のあり方に不安や疑問を感じる改定でもあったと思います。さらに最大の問題点ともいえる物価と人件費の高騰が医療機関の経営を危機的なものにしています。このような社会情勢の中で、今新たな医療経営の可能性を考えたいと思います。本大会では病床の新たな再編手法、地域包括ケアシステムの構築と連携の新たな可能性、医療DXへの取り組み方、病院事務の未来等、新経営戦略について、多くの提言を頂き、新たな医療経営のあり方とその可能性について考える機会にしたいと思います。

そこで今回は、「新しい病院経営のゆくえは」を学会のメインテーマとさせていただきました。きたるべく超高齢化社会・人口減社会に向けて地域の医療・介護ニーズと役割についてその可能性を考える価値ある機会の場合にしたいと思います。

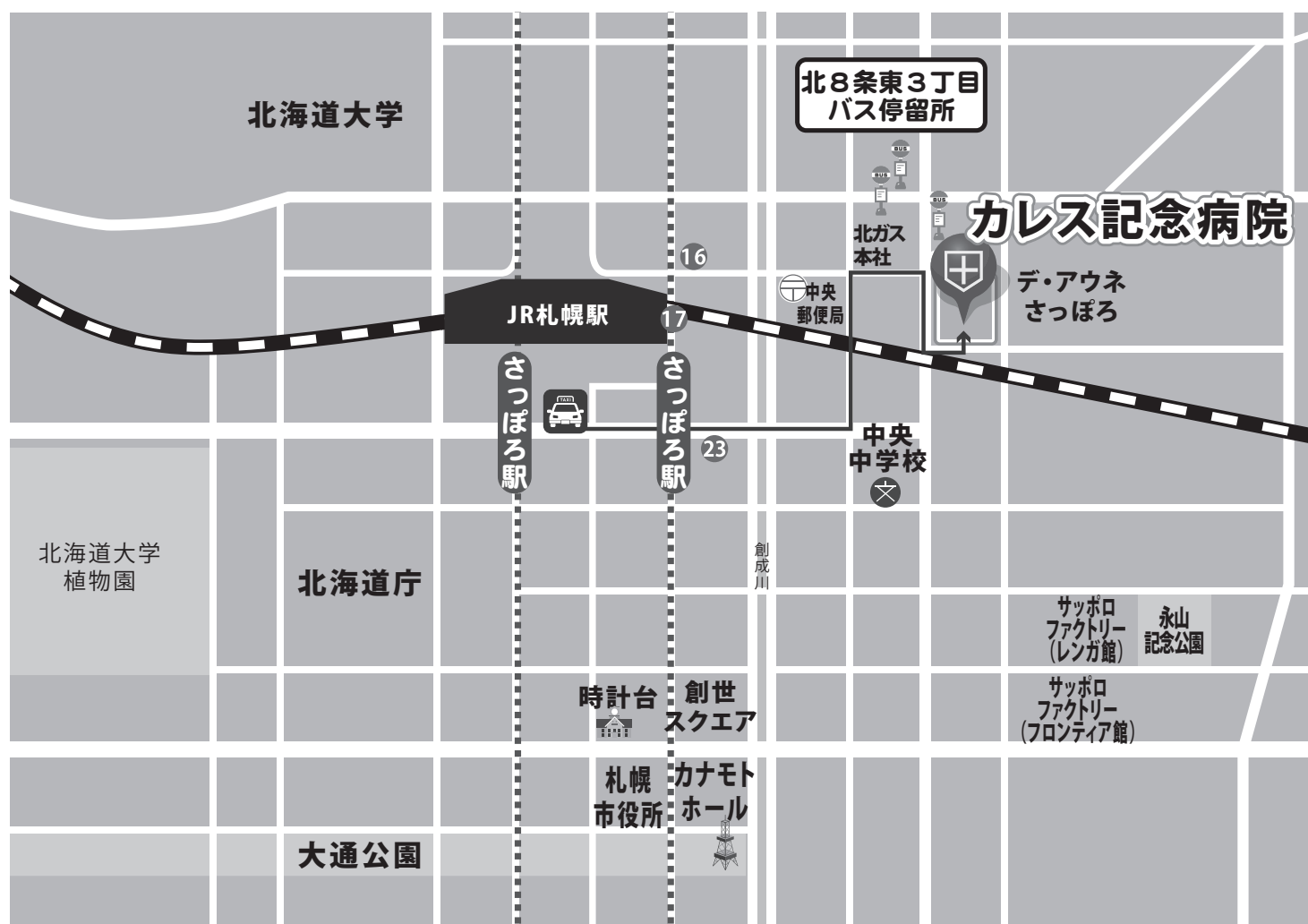
目次

ご挨拶	2
開催概要	4
会場・交通機関のご案内	5
会場案内図	6
参加者へのご案内	8
日程表・プログラム	12
<主要プログラム 講演抄録>	
招待講演	16
会長講演	20
教育講演	26
招待講演	30
医療経営コンサルタント協会講演	34
シンポジウムⅠ	38
ランチョンセミナー	46
招待講演	50
シンポジウムⅡ	54
<一般演題（オンライン配信）>	63
協賛企業一覧（展示 / 広告）	74

開催概要

学会テーマ	「新しい病院経営のゆくえは ～時代の変遷を見据えて～」																			
会 期	2025 年 11 月 7 日 (金)・11 月 8 日 (土)																			
会 場	カレスホール 〒060-0906 北海道札幌市東区北 6 条東 3 丁目 1 番地 1 カレス記念病院 3 階																			
会 長	中林 梓 (株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長)																			
参 加 費	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>事前振込</th><th>当 日</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会 員</td><td>10,000 円</td><td>11,000 円</td></tr> <tr> <td>非会員</td><td>12,000 円</td><td>12,000 円</td></tr> <tr> <td>学 生</td><td>5,000 円</td><td>5,000 円</td></tr> <tr> <td colspan="3">懇親会</td></tr> <tr> <td colspan="3">7,000 円 (共通) ※定員に達しました</td></tr> </tbody> </table>			事前振込	当 日	会 員	10,000 円	11,000 円	非会員	12,000 円	12,000 円	学 生	5,000 円	5,000 円	懇親会			7,000 円 (共通) ※定員に達しました		
	事前振込	当 日																		
会 員	10,000 円	11,000 円																		
非会員	12,000 円	12,000 円																		
学 生	5,000 円	5,000 円																		
懇親会																				
7,000 円 (共通) ※定員に達しました																				
事 務 局	第 24 回日本医療経営学会学術集会・総会事務局 社会医療法人 社団 カレス サッポロ 法人本部 〒060-0906 北海道札幌市東区北 6 条東 3 丁目 1 番地 1 電話 : (011) 777-1331 FAX: (011) 558-2332																			

会場・交通機関ご案内



地下鉄 南北線・東豊線 さっぽろ駅
16 番・17 番・23 番出口 徒歩 10 分

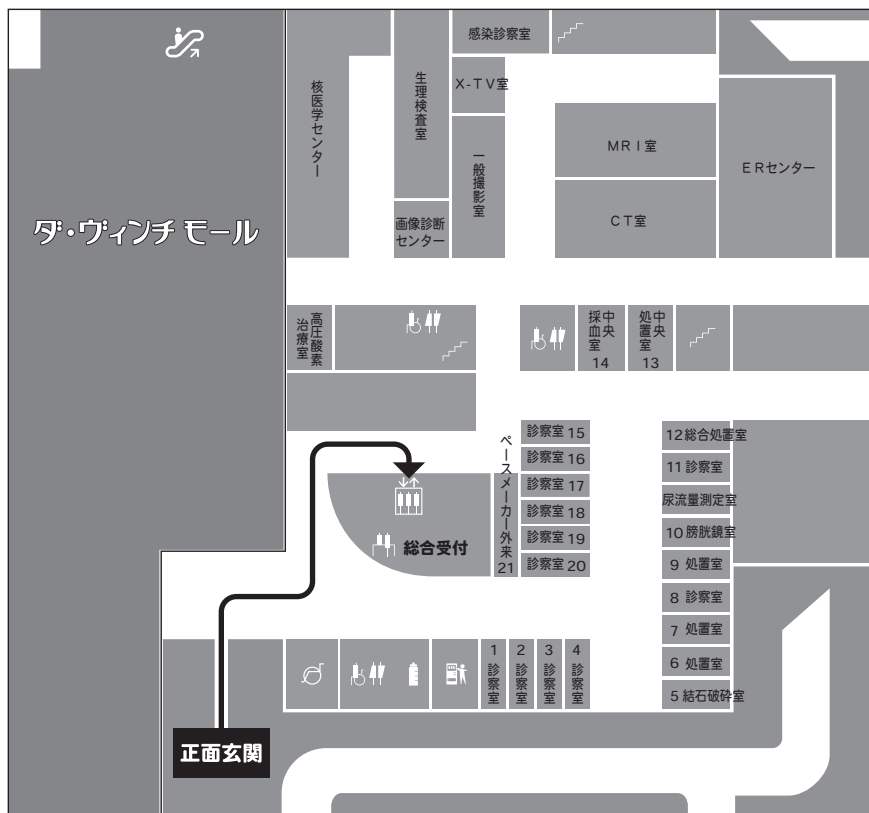
JR 札幌駅 (在来線) から
徒歩 10 分

東 19 北光北口線 [北8条東3丁目]
下車徒歩 3 分

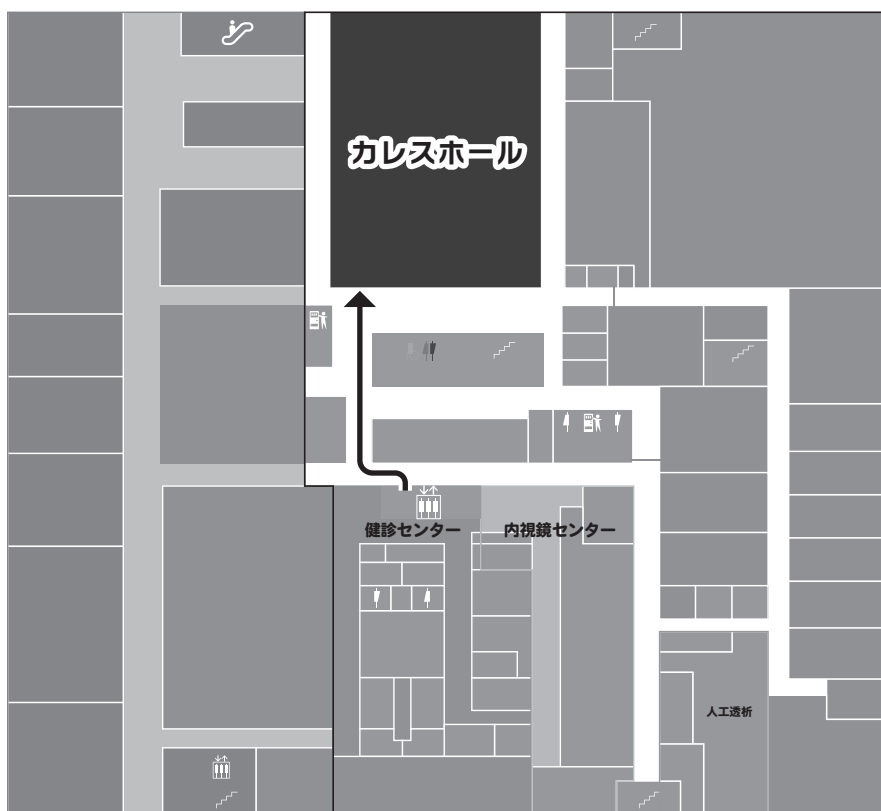


南側 (JR 高架側) が正面玄関です。
エントランスのモニュメントが目印となります。

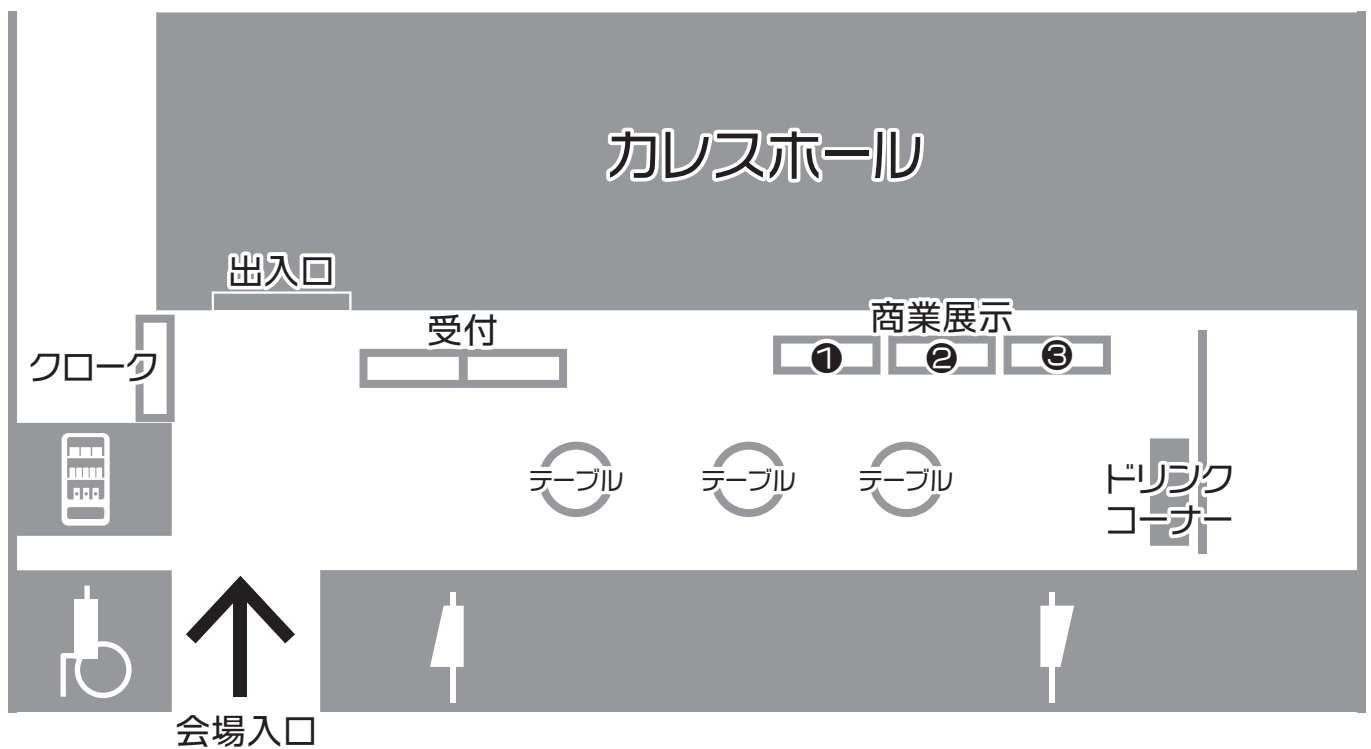
1F案内図



3F案内図



受付・商業展示のご案内



商業展示

① 株式会社エラン	入院セットの紹介、日用品、衣類、タオルなど
② 株式会社 FUJITA	中古機器買取、解体などの紹介
③ 株式会社 Work Vision	ペーパーレス化、勤怠システム紹介

学会参加者へのご案内

1. 受付カウンターについて

- ①受付は、カレス記念病院 3 階 カレスホール前ホワイエにございます。
- ②受付の対応時間は次の通りです。

11 月 7 日（金）	13：00～16：00
11 月 8 日（土）	8：30～15：00

2. 事前登録された方へ

- ① 事前にお送りする「参加証＜ネームカード＞」を当日忘れずにお持ちください。
(お忘れの場合は受付にお問い合わせください)
- ②「参加証＜ネームカード＞」は受付にて参加札、ネームホルダー、抄録集と交換して下さい。
会場内では参加札入りのネームホルダーを必ずご着用ください。
- ③「参加札」は再配布いたしませんので、必ずご持参ください。
- ④ 抄録集を紛失した場合、また別途ご希望の方は、受付にて 1 冊：1,000 円にて販売しております。

※抄録集はホームページ内でもご確認いただけます <https://jaha-sapporo.com/pdf/2025jaha.pdf>



3. 当日参加登録される方へ

当日登録 会員 11,000 円 非会員 12,000 円
学生登録 5,000 円

※クレジットカード等のご利用できませんので、ご注意ください。(現金のみ)

- ① 当日参加登録をされる方は、受付にて「参加登録申込書」にご記入の上、当日参加登録費を添えてお申込みください。
- ② 受付後、「参加札」と「抄録集」をお渡しします。
- ③ 「参加札」には所属（病院名・企業名等）、氏名をご記入の上、会場内では必ずご着用ください。
- ④ 「参加札」は再配布いたしませんので、必ずご持参ください。
- ⑤ 抄録集を紛失した場合、また別途ご希望の方は、受付にて1冊：1,000円にて販売しております。

※抄録集はホームページ内でもご確認いただけます <https://jaha-sapporo.com/pdf/2025jaha.pdf>



4. 懇親会について

日時：11月7日（金） 18：00～

会場：サッポロビール園 ガーデングリル

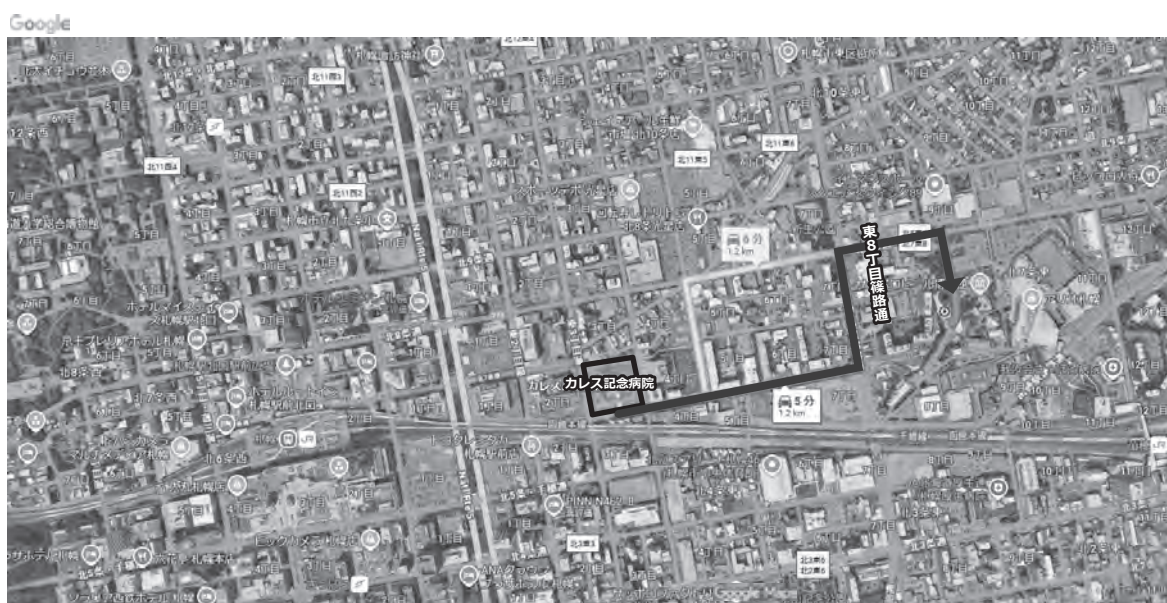
参加費：7,000円

<事前にお申し込みをされた方>

- ① 事前に「懇親会参加証」をお送りいたします。
- ② 7日の会終了後、1F 正面玄関より移動用バスに乗車して会場へ移動します。

※バス乗車時、受付にてお渡しした「懇親会参加札（ネームホルダー）」をご着用下さい

※完全予約制のため、当日参加はできません



東8丁目線路通 経由	5分
最速ルート（通常の交通量）	1.2 km
北8条通 経由	6分
多少の交通量（通常どおり）	1.2 km

■ 運営上のご案内

1. 撮影について

写真撮影を行う際は、他の参加者のご迷惑にならないように十分注意して行ってください。
なお、フラッシュを用いての撮影は禁止いたします。

2. 質疑のある場合

質疑・討論は必ず座長の指示に従い、会場内に設けたマイクを利用し、所属・氏名を告げてから簡潔に行ってください。

IV. 会場内のご案内

① クローク

カレスホール ホワイエの受付クロークをご利用ください。

② 呼び出し

会場内の呼び出しは原則行いません。緊急の場合は、受付にお申込みください。

③ 喫 煙

会場内はすべて禁煙となっております。

会場建物が病院のため敷地内全て禁煙となります。

④ 携帯電話のご利用

会場内では必ず携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。

⑤ ランチョンセミナー

11月8日（土）ランチョンセミナーを開催いたしますので、奮ってご参加ください。



エゾリス



シマエナガ



キタキツネ

日程・スケジュール

日程・スケジュール

1日目 11月7日（金）

開会挨拶	
14:00～14:10	学術集会・総会会長ご挨拶 学術集会・総会会長 中林 梓 日本医療経営学会理事長ご挨拶 理事長 大道 久
招待講演	
14:10～15:00	【2つの災害への備え～病院強靱化の必要性】 講 師 神野 正博 （社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長） 座 長 大城 辰美 （社会医療法人 社団 カレス サッポロ 理事長）
15:00～15:10	休 憩
会長講演	
15:10～16:00	【2026 年度診療報酬改定の方向性】 講 師 中林 梓 （会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長） 座 長 川原 丈貴 （株式会社川原経営総合センター 代表取締役社長）
16:00～16:10	休 憩
教育講演	
16:10～17:00	【看護の未来を変えるのは、あなたから始まる ～セル看護提供方式®による組織変革】 講 師 森山 由香 （株式会社麻生 飯塚病院 副院長兼看護部長） 座 長 村上 城子 （医療法人 徳洲会 和泉市立総合医療センター 最高顧問・名誉院長）
17:00～17:15	一般演題紹介（会長より）
18:00～	懇親会 会 場：サッポロビール園 ガーデングリル

日程・スケジュール 2日目 11月8日（土）

開会挨拶	
8:50～9:00	学術集会・総会会長ご挨拶 学術集会・総会会長 中林 梓
招待講演	
9:00～9:50	【地域医療連携推進法人のDX】 講 師 蔭山 裕之 （地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアム 理事・事業局局長） 座 長 白髪 昌世 （広島国際大学 名誉教授）
9:50～10:00	休 憩
医業経営コンサルタント協会 講演	
10:00～10:40	【働き方改革の課題と北海道勤改センターの支援事例について】 講 師 奥野 舞 （おくの法律事務所 代表 / 認定登録医業経営コンサルタント / 弁護士 / 社労士）
10:40～10:50	休 憩
シンポジウムⅠ	
10:50～12:20	【医事課及び病院事務の未来はどうなる】 座 長 中林 梓 （会長・株式会社ASK梓診療報酬研究所 代表取締役・所長） シンポジスト1 【変化する時代におけるこれからの医療事務職とは】 大友 達也 （一般社団法人日本レセプト学会 理事長 / 就実大学教授） シンポジスト2 【病院経営における医事業務とは】 小野寺 英雄 （医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 経営管理部 部長） シンポジスト3 【医事課および病院事務部門の未来と医療 DX】 黒川 大輔 （社会保険診療報酬支払基金 情報化企画部 企画調査役 電子カルテ情報担当）
12:20～12:30	休憩（ランチョン準備）

ランチョンセミナー	
12:30～13:20	【医療 AI の最新の話題：画像と自然言語処理を中心に】 講 師 平田 健司 （北海道大学大学院医学研究院画像診断学教室 准教授）
13:20～13:30	休 憩
13:30～13:50	社員総会
13:50～14:00	休 憩
招待講演	
14:00～14:50	【新たな地域医療構想 その背景とこれからの病院運営】 講 師 迫井 正深 （厚生労働省 医務技監） 座 長 大道 久 （日本医療経営学会 理事長）
14:50～15:00	休 憩
シンポジウムⅡ	
15:00～16:50	【若手経営者の取り組み】 座 長 高橋 泰 （国際医療福祉大学大学院 教授・専攻主任） シンポジスト 1 【逆境を進化に変えるー継承と連携で描く病院経営の未来】 矢野 裕典 （洛和会ヘルスケアシステム 理事長） シンポジスト 2 【「未来の医療を支えるための『経営力』—集合知・現場・人材育成を結ぶ視点」】 石見 陽 （メドピア株式会社 取締役会長（医師・医学博士）） シンポジスト 3 【平成医療福祉グループの取り組み】 武久 敬洋 （平成医療福祉グループ 代表）
16:50～	次期 学術集会・総会会長挨拶 次期学術集会・総会会長 閉会の辞



「2つの災害への備え ～病院強靱化の必要性」

11月7日（金）14：10～15：00

講師 神野 正博

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長

座長 大城 辰美

社会医療法人 社団 カレス サッポロ 理事長

2つの災害への備え ～病院強靱化の必要性

講師：神野 正博（社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長）

座長：大城 辰美（社会医療法人 社団 カレス サッポロ 理事長）



大城 辰美（おおしろ たつみ）

社会医療法人 社団 カレス サッポロ 理事長

経歴

昭和 30 年生まれ、沖縄県出身。全国の医療機関に勤務後、平成 22 年 8 月、全国第 1 号で社会医療法人として認可された社会医療法人社団カレスサッポロ理事長に、非医師として就任。日本医療経営学会の理事も務める。

2つの災害への備え ～病院強靱化の必要性

講師：神野 正博（社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長）

座長：大城 辰美（社会医療法人 社団 カレス サッポロ 理事長）



神野 正博 Msahiro Kanno M.D.,Ph.D

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長

CEO of Keiju Healthcare System

経歴

1980 年 日本医科大学卒

1986 年 金沢大学大学院医学専攻科卒（医学博士）。金沢大学第2外科助手を経て、

1992 年 恵寿総合病院外科科長

1993 年 同病院長（2008年退任）

1995 年 特定医療法人財団董仙会（2008年11月より社会医療法人財団に改称、2014年創立80周年）
理事長

2011 年 社会福祉法人徳充会理事長併任

専門は消化器外科。全日本病院協会会長、NPO法人VHJ機構理事長、日本社会医療法人協議会副会長、石川県病院協会副会長、七尾商工会議所副会頭ほか。

現在、厚生労働省において社会保障審議会医療部会委員、医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会委員を務める。

2つの災害への備え～病院強靱化の必要性

神野 正博

社会医療法人財団 董仙会 恵寿総合病院 理事長

医療の持続可能性を考えた時に、2つの災害に対応する必要性がある。すなわち、地域医療における平時からの準備である BCM（Business Continuity Management）ともしもの時の対応である BCP（Business Continuity Plan）の策定が肝要だ。それは、激甚化する地震・津波、風水害、火災など自然災害への対応であり、もう一つは災害級のインパクトを医療に与えようとしている社会構造の大きな変化への対応だ。

特に、後者は、すべての団塊の世代が後期高齢者となる、まさに今年 2025 年を境として、今後、急速な人口減少と特に生産年齢人口が急減していくフェイズに陥る。働き方改革と相まって、この働き手不足に対してその解決策を模索することは、わが国のすべての産業において必須である。そして、その最も大きな解決策は生産性向上、すなわち少ない人数でこれまで以上の量と質に対応することだろう。そのために、DX の取り組みが必須だ。

われわれ医療機関でも、DX の取り組みに躊躇しててならない。当院は、人口急減地域である能登半島に位置するだけに、その取り組みを都会の病院以上に加速させなければいけない。現在、ICT による診療情報や経営データの集積や連携ばかりではなく、全館でのデータ端末としてのスマートフォンの導入や RPA、生成 AI の活用をすることによって、少ない医療職ではあるものの急性期医療を担い、また労働時間を短縮させ、収益化を実現させている。

そして、災害対応だ。当院は急性期棟における液状化対策のための格子状地盤改良と免震構造建築に加えて、二重化を基本とする BCM／BCP を策定していたことで、電源の確保、上水の井戸水での確保、夜間離発着設備を備えた屋上ヘリポートが機能し、さらに DX のフル活用によって、能登半島の他のすべての病院が機能停止に陥ったにもかかわらず、震災直後から外科手術やお産も含めて医療を止めることは皆無であった。

地域と医療は表裏一体だ。医療がなくなった地域からはヒトは安心を求めて去っていく。一方、ヒトがいなくなった地域ではどんなに素晴らし病院でも経営が成り立たない。ここで示した2つの災害がへの対応こそが、地域の持続可能性を担保し、安心の地域づくりの柱となるに違いない。



「2026 年度診療報酬改定の方角性」

11 月 7 日（金） 15：10 ～ 16：00

講師 中林 梓

会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長

座長 川原 丈貴

株式会社川原経営総合センター 代表取締役社長

2026 年度診療報酬改定の方向性

講師：中林 梓（会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長）

座長：川原 丈貴（株式会社川原経営総合センター 代表取締役社長）



川原 丈貴（かわはら たけよし）

株式会社川原経営総合センター代表取締役社長
行政書士法人川原経営代表社員

経歴

【学歴】

1987 年 3 月 暁星高等学校卒業
1991 年 3 月 中央大学法学部法律学科卒業

【職歴】

1990 年 10 月 監査法人トーマツ入所
1997 年 7 月 監査法人トーマツ退所
1997 年 7 月 川原公認会計士事務所開設所長就任
1998 年 4 月 株式会社川原経営総合センター、
川原税務会計事務所(現税理士法人川原経営)入社
2004 年 2 月 監査法人MMPGエーマック代表社員就任(現任)
2004 年 8 月 税理士法人川原経営代表社員就任(現任)
2005 年 5 月 株式会社川原経営総合センター代表取締役社長就任(現任)
2021 年 6 月 行政書士法人川原経営代表社員就任(現任)

【資格】

1990 年 10 月 会計士補登録
1994 年 8 月 公認会計士登録
1997 年 12 月 税理士登録
1999 年 3 月 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会
認定登録 医業経営コンサルタント
2015 年 7 月 行政書士登録

【公職歴】

1998 年 5 月 公益社団法人日本メディカル給食協会監事(現任)
1999 年 11 月 厚生省指定介護老人福祉施設等会計基準及び
会計事務取扱要領策定検討会委員

2003 年 2 月 東京都認知症高齢者グループホーム整備事業の
審査に係る専門家検討委員会委員(現任)
2004 年 11 月 厚生労働省医療関連サービス基本問題検討会委員(現任)
2005 年 4 月 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会監事(現任)
2005 年 5 月 医療経済フォーラム・ジャパン専務理事兼事務局長(現任)
2008 年 6 月 一般社団法人日本医療経営学会理事(現任)
2011 年 9 月 一般社団法人全国訪問看護事業協会監事(現任)
2012 年 6 月 公益社団法人全国老人保健施設協会社会保障
制度委員会報酬部会員、消費税対策部会委員(現任)
2013 年 10 月 厚生労働省医療法人の事業展開等に関する検討会委員
2015 年 4 月 メディカル・マネジメント・プランニング・
グループ(MMPG)理事長(現任)
2018 年 3 月 厚生労働省中央社会保険医療協議会医療機関
における消費税負担に関する分科会委員(現任)
2018 年 9 月 公益社団法人日本医師会医業税制検討委員会委員(現任)
2019 年 5 月 四病院団体協議会医業経営・税制委員会参与(現任)
2020 年 10 月 厚生労働省社会福祉連携推進法人の運営の在り方
等に関する検討会委員
2022 年 6 月 公益社団法人全国老人保健施設協会監事(現任)
2022 年 6 月 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会会長(現任)
2022 年 8 月 一般財団法人医療関連サービス振興会理事(現任)
2022 年 9 月 厚生労働省医薬品の迅速・安定供給実現に向けた
総合対策に関する有識者検討会構成員(現任)
2025 年 4 月 独立行政法人評価に関する有識者会議構成員
(国立病院 WG 構成員及び医療・福祉 WG 構成員)(現任)
2025 年 6 月 公益社団法人全日本病院協会参与(現任)

【公職歴】

2024 年 5 月 厚生労働大臣感謝状

2026 年度診療報酬改定の方向性

講師：中林 梓（会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長）

座長：川原 丈貴（株式会社川原経営総合センター 代表取締役社長）



中林 梓（なかばやし あづさ）

会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長

経歴

札幌出身

病院・診療所対象のコンピュータ・インストラクターを経て、医事運用、経営コンサルティングに従事。

平成9年（1997）ASK 梓診療報酬研究所を設立。

請求もれ、経営改善、在宅医療等をテーマに、分析・セミナー講演・執筆活動を行なう。

【現在】

診療報酬に関する各種研究、医業収入診断、経営改善指導、医事運用コンサルティング、在宅医療運営指導、診療報酬・介護報酬に関する医師・看護師向けの各種教育研修・セミナーに携わる。

医業経営コンサルタント（運営）。

■研修講師実績

全国公私病院連盟、日本病院学会、全国厚生農業協同組合連合会、日本赤十字社、済生会、北海道病院協会、静岡県病院協会、広島県病院協会、岡山県病院協会、福岡県私設病院協会、京都私立病院協会、奈良県病院協会、愛知県医療法人協会、茨城県医療法人協会、沖縄県慢性期医療協会、徳島県医師会、広島県医師会、千葉市医師会、金沢市医師会、富山市医師会、熊本市医師会、呉市医師会、名古屋大学医学部付属病院、日本医業経営コンサルタント協会、TKC、メディカル・マネジメント・プランニング・グループ、医療関連サービス振興会、日本慢性期医療協会、他 多数

2026 年度診療報酬改定の方向性

中林 梓

会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長

日本医療経営学会学術総会 2026年度診療報酬改定の方向性

「新地域医療構想」や「かかりつけ医機能報告制度」等の制度の見直しが改定にどのように影響するのかまた物価高などを考慮した改定の方向性を現段階の情報から読み取ってみたいと思います。

講師 (株)ASK梓診療報酬研究所
所 長 中 林 梓₁

令和8年度診療報酬改定の基本方針について

②改定の基本的視点と具体的方向性

「基本的視点」の例と「具体的方向性」の例における記述は、前回の議論や中央社会保険医療協議会での議論を参考に整理している。

「基本的視点」の例	「具体的方向性」の例
(例) 物価や賃金、人手不足などの医療機関等を取りまく環境の変化への対応	(例) ・ 医療機関等が直面する食材料費等の各種費用の高騰を踏まえた対応 ・ 賃上げや業務効率化・負担軽減等の業務改善による医療従事者の人材確保に向けた取組
(例) 2040年頃を見据えた医療機関の機能の分化・連携と地域における医療の確保、地域包括ケアシステムの推進	(例) ・ 患者の状態及び必要と考えられる医療機能に応じた入院医療の評価 ・ 「治し、支える医療」の実現 ・ かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師の機能の評価 ・ 外来機能分化と連携 ・ 医療資源の少ない地域への支援 ・ 医師偏在対策の推進 ・ タスクシフト/シェア、チーム医療の推進
(例) 安心・安全で質の高い医療の実現	(例) ・ 医療DXやICT連携を活用する医療機関・薬局の体制の評価 ・ アウトカムにも着目した評価の推進 ・ 重点的な対応が求められる分野への適切な評価（救急医療、小児医療、周産期医療等） ・ 口腔疾患の重症化予防等の生活の質に配慮した歯科医療の推進、口腔機能発達不全及び口腔機能低下への対応の充実、歯科治療のデジタル化の推進 ・ 地域の医薬品供給拠点としての薬局に求められる機能に応じた適切な評価、薬局・薬剤師業務の対人業務の充実化 ・ イノベーションの適切な評価や医薬品の安定供給の確保等
(例) 効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上	(例) ・ OTC類似薬等の薬剤給付の在り方の検討 ・ 費用対効果評価制度の活用 ・ 市場実勢価格を踏まえた適正な評価

3

急性期機能に着目した評価指標の現状と課題

診療組 入-3
7、7、3

評価の観点	一般的な急性期機能	拠点的な急性期機能
救急搬送	【現状の評価指標】 - 救急車で来院、入院した患者数を評価（DPC制度：地域医療係数） 【課題】 - 二次医療圏において、一般的な急性期機能として、どの程度の救急搬送が受け入れられているか - 地域の人口規模等で、配慮すべき観点はありますか	【現状の評価指標】 - 救急車で来院、入院した患者数を評価（DPC制度：地域医療係数） - 救急搬送件数2000件等（総合入院体制加算、急性期充実体制加算） 【課題】 - 地域における拠点的な急性期機能として、どの程度の救急搬送が受け入れられているか - 人口規模の小さな地域や離島等での、救急搬送に係る拠点的な機能をどのように考えるか
全身麻酔手術	【課題】 一般的な急性期機能として、地域でどの程度の手術が実施されているか	【現状の評価指標】 - DPC特定病院群の実績要件として、手術件数、外保連指数を評価 - 全身麻酔手術件数や悪性腫瘍手術等を評価（総合入院体制加算、急性期充実体制加算） 【課題】 - 拠点的な急性期機能として、どのような難易度・件数の手術が実施されているか
総合性	【現状の評価指標】 - カバー率指数：様々な患者に対応できる総合的な体制について評価（DPC制度：カバー率指数） 5疾病6事業等を含む医療提供体制における役割や実績を評価（DPC制度：地域医療係数） 【課題】 - 一般的な急性期機能として、どの程度の総合性があると考えられるか	【現状の評価指標】 - カバー率指数や、5疾病6事業等を含む医療提供体制における役割や実績を評価（DPC制度） - 幅広い標榜診療科と入院医療提供を評価（総合入院体制加算） - 小児・周産期・精神の入院医療を評価（小児・周産期・精神科充実体制加算） 【課題】 - 拠点的な急性期機能では、どの程度総合性があると考えられるか

2025.09.19入院・外来医療等調査評価分科会(急性期入院医療(その3))

17

内科系症例をより反映する指標についての検討

診療組 入-2参考
7 7 3 改

- 内科系症例が外科系症例と比べて重症度、医療・看護必要度のA・C項目を満たしにくいことについて、適切な受け入れが求められる内科系症例の重症度を適切に評価するための指標の案を以下に列挙した。

考えられる対応		具体的な対応例	メリット	考えられる懸念
現行のA・C項目の修正		- 緊急入院の該当日数を伸ばす - A6の下位項目のうち免疫抑制剤を2点→3点に - 負荷の高い内科疾患に行われる処置等を追加	影響を試算しやすい	- 大きな変化は生まれにくい。 - 個々の症例の評価を精緻化することには限界があるのではないかな。
新たな評価方法により加点	医療資源投入量（出来高点数）を評価	検査の包括内出来高点数が一定以上の場合に加点	データ提出加算のEFファイルを用いて自動的に計算可能で手間は少ない	不要な検査を惹起する可能性。特に出来高病棟では医療費の増加につながるかな。
	疾患名に応じて評価	内科系救急等で明らかに入院適応があり、かつ、頻度の高い一定の疾患に入院○日数まで加点	C項目では評価されづらい内科系症例のみにダイレクトに加点される	- 病名のアップコーディングが生じないかな。 - 入院時には診断がつかないことも多い。
	救急応需や緊急入院など病院として負荷の高い項目を評価	病床数あたりの救急応需件数や緊急入院件数に応じた一定の割合を、基準該当割合に加算	病院の取組そのものを評価することにつながる	軽症の患者であっても、救急車利用が促されたり、緊急入院が誘われたりするのではないかな。

2025.09.11 入院・外来医療等の調査・評価分科会 重症度、医療・看護必要度

21

包括期の病院機能を表現できる指標の候補

指標等WG
7. 29 改

- 救急受入や在宅等の後方支援に関する機能の評価に関連すると考えられる項目を列挙した。
○ その他の案を含め、救急受入と後方支援をバランス良く評価することができるか、また救急車利用や入院加療が促されることはないかという観点で指標を検討する必要がある。

評価対象	具体的な指標	データ取得の実現性	評価観点	懸念点	在宅	施設
救急搬送受入件数	外来診療のみで帰宅した症例を含む救急応需件数	病床機能報告を利用、又は別途報告を要する	入院しなかった症例も含まれるため、入院を誘発するおそれなく、救急外来そのもののパフォーマンスを評価できる	搬送手段として救急搬送が選択されないかな	○	○
下り搬送等受入件数	下り搬送を応需した件数	現存するデータでは把握不能のため、別途報告を要する	自院で活発な救急受入を行っていても、他院との連携による機能分化を評価できる	下り搬送の定義について要検討	○	○
当該病棟への緊急入院	当該病棟へ自宅又は施設等から直接緊急入院した件数	データ提出加算のデータにより自動的に把握可能	病棟ごとのパフォーマンスを評価できるため、併設病棟の種類に影響を受けない	在宅等で加療が可能な状態であっても入院が促されないかな	○	○
後方支援に係る加算の算定件数	A206 在宅患者緊急入院診療加算、A253 協力対象施設入所者入院加算の算定回数	データ提出加算のデータにより自動的に把握可能	平時からの情報連携に基づく入院医療の提供について評価できる	同上。現状はA253は在宅、後方支援病院、地ケアを有する病院に限られており要調整	○ A206	○ A253
自宅等からの入院件数	(地ケアのみ) A308・03の注6 在宅患者支援病棟初期加算の算定回数	データ提出加算のデータにより自動的に把握可能	平時からの連携は評価されない	在宅等で加療が可能な状態であっても入院が促されないかな	○	○
協力対象施設である介護施設への住診	C000の注10 介護施設等連携住診加算の算定回数	レセプトから把握、又は別途報告を要する	入院に至らない診療も評価することができる	外来受診できる状態でも住診が選択されないかな。A253と同様に算定可能な施設は要調整	-	○

2025.09.11 入院・外来医療等の調査・評価分科会 包括的な医療を担う入院医療(その3)

26



「看護の未来を変えるのは、あなたから始まる ～セル看護提供方式®による組織変革」

11月7日（金）16：10～17：00

講師 森山 由香

株式会社麻生 飯塚病院 副院長兼看護部長

座長 村上 城子

医療法人 徳洲会 和泉市立総合医療センター 最高顧問・名誉院長

看護の未来を変えるのは、あなたから始まる ～セル看護提供方式®による組織変革

講師：森山 由香（株式会社麻生 飯塚病院 副院長兼看護部長）

座長：村上 城子（医療法人 徳洲会 和泉市立総合医療センター 最高顧問・名誉院長）



村上 城子（むらかみ せいこ）

医療法人 徳洲会 和泉市立総合医療センター 最高顧問・名誉院長

経歴

1981 年 大阪市立大学（現大阪公立大学）医学部卒業
1987 年 同大学院修了
1991 年 和泉市立病院入職
2013 年 和泉市立病院病院長
2018 年 和泉市立総合医療センター病院長（病院名変更）
2019 年 同 病院総長
2024 年 同 名誉院長
医学博士、小児科専門医、同指導医、医療経営士 1 級

看護の未来を変えるのは、あなたから始まる ～セル看護提供方式®による組織変革

講師：森山 由香（株式会社麻生 飯塚病院 副院長兼看護部長）

座長：村上 城子（医療法人 徳洲会 和泉市立総合医療センター 最高顧問・名誉院長）



森山 由香（もりやま ゆか）

株式会社 麻生 飯塚病院
副院長 兼 看護部長

経歴

出身は、福岡県宮若市。

1987 年、株式会社 麻生 飯塚病院に就職し集中治療室に勤務。1994 年厚生労働省看護教員養成課程修了。1992 年～ 2003 年まで麻生医療福祉専門学校看護科専任教員、2009 年より麻生看護大学看護科教務主任。その後、病棟師長、看護管理師長を経て、2015 年に看護部長就任。2017 年に日本看護協会認定看護管理者認定資格取得。同年に副院長兼看護部長に就任し、現在に至る。

看護の未来を変えるのは、あなたから始まる ～セル看護提供方式®による組織変革

森山 由香

株式会社 麻生 飯塚病院 副院長 兼 看護部長

近年、医療職の過重労働や人口減少による人材不足は、医療現場に深刻な影を落としています。特に看護師の働き方改革は、単なる労働時間の削減にとどまらず、やりがいと生産性を両立させ、組織全体の力を高める取り組みが不可欠です。管理者には、スタッフ一人ひとりが仕事の意義や価値を実感し、未来に希望をもって働き続けられるよう支援する役割が求められています。

飯塚病院は「We Deliver the Best まごころ医療、まごころサービス」を理念に掲げ、「日本一のまごころ病院」を目指して改善を重ねてきました。その中で私が大切にしてきたのは、「看護師が楽しんで働ける環境をつくること」です。楽しさがモチベーションを生み、生産性を高め、その成果は医療の質へとつながります。

その具体策が、2013年に導入した「セル看護提供方式®」です。看護師の「動線」に着目し、業務の流れを最適化することで「患者のそばで仕事をする」という本来あるべき姿を取り戻しました。製造業のセル生産方式を応用し、看護という成果物を意識して時間内に最高のパフォーマンスを発揮できる仕組みです。導入に際しては「ムダとり」から始め、動線・記録・配置の見直しを徹底。結果としてスタッフステーションに看護師がいない新しいワークスタイルが確立し、褥瘡や転倒の減少、残業削減、離職率低下、モチベーション向上など、多くの成果を生み出しました。

しかし、ここでお伝えしたいのは成果だけではありません。今日のテーマは「働き方改革へのチャレンジ」です。私たちの歩みを「大変だったんだな」で終わらせないでください。どうか皆さん自身の病院の「地図」を描き、行動を始めていただきたいのです。じっとしていれば、この厳しい環境の中で取り残されてしまいます。未来のことは誰にもわかりません。だからこそ、完璧な地図でなくていいのです。病院のビジョンや理念、そして「もっと良い看護がしたい!」という皆さん自身の熱い想いこそが、その地図の原点です。

変革には必ず抵抗が伴います。「面倒だ」「今のやり方を変えたくない」といった声は避けられません。人間とはそういうものです。だからこそ必要なのは「変わらしましょう!」というスローガンではなく、誰もがワクワクし、希望を抱ける「ストーリー」を描くことです。

私たちの小さなチャレンジが、そのストーリーを紡ぐヒントになれば、この上ない喜びです。本講演をきっかけに、皆さん自身が自施設の未来に向けて最初の一步を踏み出す勇気を得ていただけることを願っています。看護の未来を変えるのは、他の誰でもなく「あなた」から始まるのです。



「地域医療連携推進法人の DX」

11月8日(土) 9:00～9:50

講師 蔭山 裕之

地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアム 理事・事業局局長

座長 白髪 昌世

広島国際大学 名誉教授

地域医療連携推進法人の DX

講師：蔭山 裕之（地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアム 理事・事業局局長）

座長：白髪 昌世（広島国際大学 名誉教授）



白髪 昌世（しらが まさとし）

広島国際大学 名誉教授

経歴

1979 年、大学院生時代、医療過誤を研究課題としていたが、病院経営の仕組みを理解する必要を痛感し、戦後 GHQ の命令で設置された厚生省 病院管理研究所 病院管理研究科研修生となり、病院管理学の研究を始める。研究科終了後、聖マリアンナ医科大学法人事務局企画室で医師の養成に関わった。

1986 年、病院管理研究所 経営管理部研究員となり、主任研究官、マクロ医療経済研究室長として政策研究、教育主任として病院経営幹部を対象とした病院管理研修を担当した。

1998 年に学校法人大阪工大摂南大学（現：学校法人常翔学園）の医療経営学科設置要員として、広島国際大学 教授となり、教育・研究のみならず、大学祭実行委員会顧問、国際麺類研究会顧問、卓球部顧問を担当し、学生たちの「人間力」の育成・開発に専念した。医療経営学科長、大学院医療経営学専攻長、図書館長を担当し、同大学定年退職後、特任教授を経て、2019 年から客員教授・名誉教授。

日本医療・病院管理学会理事、日本診療情報管理学会評議員は定年退任し、日本医療経営学会理事、医療ビジネス研究部会長を担当している。最近は「医療経営学の歴史を学ぶ会」を通じて若手研究者の育成に関わっている。

地域医療連携推進法人の DX

講師：蔭山 裕之（地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアム 理事・事業局局長）

座長：白髪 昌世（広島国際大学 名誉教授）



蔭山 裕之（かげやま ひろゆき）

地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアム
理事・事業局局長

経歴

宗教法人 在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院にて経営企画課員として 5 年間業務に従事。大学院にて経営管理学修士を取得後、コンサルティングファームにて医療経営コンサルティング部門を立ち上げ、10 年間で約 60 の医療・介護法人に対し経営コンサルティングを実施する。

2017 年、社会医療法人誠光会に就職。2020 年 10 月にはケアミックス病院であった草津総合病院を急性期病院（淡海医療センター）と慢性期病院（淡海ふれあい病院）の 2 つに分離するなど社会医療法人誠光会の持つ機能再編に取り組む。

2025 年 4 月から、115 施設が参加する地域医療連携推進法人 湖南メディカル・コンソーシアムの理事・事業局長として、地域完結型医療・参加法人内の間接部門の統合とデジタル化・医療周辺産業の内製化等に取り組んでいる。

地域医療連携推進法人の DX

蔭山 裕之

地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアム 理事・事業局局长

多くの医療機関が赤字となる中、経営破綻状態から回復してきた私たちの 10 年の取り組みと今後の計画をケースとしてご紹介させていただくことで、ご聴講いただいている皆様の法人でも参考にさせていただけることがあればと思いますお話をさせていただきます。

社会医療法人誠光会は、2006 年に新病院を建設後、赤字が続き経営破綻状態となりました。これを 2015 年に導入した全員参加経営に資する京セラ式病院原価管理手法で克服し、その後、現場の声を法人の経営に生かすボトムアップ型の経営スタイルが確立されました。次にこれも現場の声を実現する形で草津総合病院（719 床）を急性期の淡海医療センター（420 床）と慢性期の淡海ふれあい病院（199 床）、草津介護医療院（100 床）に分離することを行いました。これによって誠光会が持つ機能と持たない機能を明確化させ、全てを自法人で持つという法人完結型医療を目指してきた従来の法人方針を地域完結型医療へと転換、これをより強力に推し進めるべく設立した地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアムの取り組みについて、ご紹介をさせていただきます。また、私たちのボトムアップ型の経営スタイルに加え、もう一つの特徴であると考えている DX について、GE ヘルスケアジャパン様と共同で作り上げてきました入院関連アプリケーションの「コマンドセンター」、清水建設様と共同開発を進めて参りました外来関連アプリケーションの「eyeMIRU」、現在取り組んでおります患者の顧客価値向上を目指したアプリケーション「びわコール」等についてのご紹介もさせていただきます。

厳しい外部環境となっておりますが、同じ医療業界に身を置く者として少しでも明るい未来を感じていただけますと幸いに存じます。



「働き方改革の課題と 北海道勤改センターの支援事例について」

11月8日(土) 10:00～10:40

講師 奥野 舞

おくの法律事務所 代表

認定登録医業経営コンサルタント / 弁護士 / 社労士

働き方改革の課題と北海道勤改センターの支援事例について

講師：奥野 舞（おくの法律事務所 代表 / 認定登録医業経営コンサルタント / 弁護士 / 社労士）



奥野 舞（おくの まい）

おくの法律事務所 代表 / 認定登録医業経営コンサルタント
弁護士 / 社労士

経歴

出身地：北海道旭川市

資格：弁護士・社会保険労務士・認定登録医業経営コンサルタント

取扱分野：企業法務全般、M&A に伴う調査業務などを取り扱っています。

平成 25 年 札幌弁護士会に登録後、札幌市内の弁護士法人にて勤務

平成 26 年 北海道社会保険労務士会登録

平成 27 年 独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部

経営支援アドバイザー就任（令和 5 年まで）

平成 30 年 北海道医療勤務環境改善支援センターにて、医業経営アドバイザー兼

医療労務アドバイザー登録

平成 31 年 札幌市内にて、独立開業（おくの法律事務所）

働き方改革の課題と 北海道勤改センターの支援事例について

奥野 舞

おくの法律事務所 代表 / 認定登録医業経営コンサルタント / 弁護士 / 社労士

2024 年 4 月 1 日から医師の働き方改革に基づく各制度が施行され、施行前と施行後とでは、医療勤務環境改善支援センターの支援内容が変化してきています。

施行前は、各病院の適用水準に応じた労働時間管理体制の構築や、勤務医師の時間外労働を減らす 1 つの方策としての宿日直許可申請に関する個別支援が多かったように思います。

これに対し施行後は、各都道府県の特例水準に該当する病院において、医師の労働時間短縮計画の見直しや、医療法第 25 条第 1 項に基づく立入検査に備えた準備が必要となることから、これらに対応するための実務支援にシフトしております。

また、こうした支援内容の変化に伴い見えてきた課題もあります。医師の労働時間短縮が進んだ結果として他職種への負担が増大し、看護師等の離職が増加するという現状が見受けられます。特に人口が少ない地域の医療機関においては、こうした専門職の離職者が増加すると、当該病院機能の維持にも影響を与えかねず、人材定着が喫緊の課題となります。

本講演においては、医師の働き方改革施行後における、北海道の勤改センターの支援状況を紹介致します。その中で、働き方改革施行後の医療機関が直面する新たな課題を再確認するとともに、法令やガイドラインを遵守するだけでは解決に至らない問題に対して、どう向き合っていくのか、支援・コンサルタント業務の在り方を考える機会を作ることができればと考えております。



北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)



札幌市時計台



「医事課及び病院事務の未来はどうか」

11月8日(土) 10:50～12:20

シンポジスト 1 大友 達也
一般社団法人日本レセプト学会 理事長 / 就実大学教授

シンポジスト 2 小野寺 英雄
医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 経営管理部 部長

シンポジスト 3 黒川 大輔
社会保険診療報酬支払基金情報化企画部 企画調査役 電子カルテ情報担当

座長 中林 梓
会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長

医事課及び病院事務の未来はどうか

シンポジスト1：大友 達也（一般社団法人日本レセプト学会 理事長 / 就実大学教授）

シンポジスト2：小野寺 英雄（医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 経営管理部 部長）

シンポジスト3：黒川 大輔（社会保険診療報酬支払基金 情報化企画部 企画調査役 電子カルテ情報担当）

座長：中林 梓（会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長）



中林 梓（なかばやし あづさ）

会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長

経歴

札幌出身

病院・診療所対象のコンピュータ・インストラクターを経て、医事運用、経営コンサルティングに従事。

平成9年（1997）ASK梓診療報酬研究所を設立。

請求もれ、経営改善、在宅医療等をテーマに、分析・セミナー講演・執筆活動を行なう。

【現在】

診療報酬に関する各種研究、医業収入診断、経営改善指導、医事運用コンサルティング、在宅医療運営指導、診療報酬・介護報酬に関する医師・看護師向けの各種教育研修・セミナーに携わる。

医業経営コンサルタント（運営）。

■研修講師実績

全国公私病院連盟、日本病院学会、全国厚生農業協同組合連合会、日本赤十字社、済生会、北海道病院協会、静岡県病院協会、広島県病院協会、岡山県病院協会、福岡県私設病院協会、京都私立病院協会、奈良県病院協会、愛知県医療法人協会、茨城県医療法人協会、沖縄県慢性期医療協会、徳島県医師会、広島県医師会、千葉市医師会、金沢市医師会、富山市医師会、熊本市医師会、呉市医師会、名古屋大学医学部付属病院、日本医業経営コンサルタント協会、TKC、メディカル・マネジメント・プランニング・グループ、医療関連サービス振興会、日本慢性期医療協会、他 多数

医事課及び病院事務の未来はどうなる

シンポジスト1：大友 達也（一般社団法人日本レセプト学会 理事長 / 就実大学教授）

座長：中林 梓（会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長）



大友 達也（おおとも たつや）

一般社団法人日本レセプト学会 理事長 / 就実大学教授

経歴

専門は政策と診療報酬、レセプト管理と経営管理の育成、診療明細の歴史的研究。

学位 修士（教育学）（北海道大学）

レセプト管理論を構築し、新しい定義を学会で提唱、代表的研究のひとつとして日本最古の診療明細書の発見者として、日経新聞等全国ニュースとなり、2019年に当学会の国際学術会議にて学術賞を受賞。明治時代の診療記録と一致した当時の患者の日記を発見し、明治期における医療費とその患者像について研究。著書は40冊以上。

一般財団法人日本能力開発推進協会 理事長

一般社団法人医療維新コンサルタント協会 副理事長

一般社団法人日本医療福祉評価機構 副理事長

Sweden MediCare Institute board member

就実大学 心理学部心理学科 教授

一般社団法人岡山県医師会医療秘書 運営委員

株式会社ケアネット顧問

株式会社キャリアカレ顧問

株式会社アイトラスティ顧問

株式会社 Medical AI LAB 顧問

資格 国際医療管理士、国際福祉管理士、レセプト管理士、診療情報管理士

変化する時代におけるこれからの医療事務職とは

大友 達也

一般社団法人日本レセプト学会 理事長 / 就実大学教授

日本の医療を考えるうえで、人口減少、労働力の不足と働き方の転換、高齢者比率の変化、国際化の進展とその方向性、DX,AX による仕事の変化といった様々なことが思い浮かぶ。医療機関経営が厳しくなっていく中で、それぞれの課題を解消するためにも、多くの改革が行われる。そのなかに DX が組み込まれているが、これらの対応は間違いなく事務職が担うことになる。DX に関して医療事務職の影響について考察するうえで、A. Osborne (2013 年) らの職業と賃金と学歴の相関分析では、AI 等によって 47%の職業が影響を受けるといったものや、Kiran Tomlinson (2025 年) の研究において、職業的影響を受けやすい職業、受けにくい職業の研究等はいくつか見受けられる。これらのことから AI によって事務系職業は代替され消滅するのではないかといった情報が独り歩きしているように思われるが、医療機関現場における医療事務職の影響について明確に示した研究はないといってよい。一方では大手企業が職員を大幅に解雇しているニュースも見受けられる。この点については、慎重に吟味する必要がある。DX,AX が進んでいる台湾の医療機関調査では今のところ事務職は減っていないことがわかっている。

日本の医療事務において着目すべき点はレセプトのリアルタイム提出、リアルタイム審査である。台湾や韓国のように請求と審査の時間軸が明らかに日本だけが紙カルテベースのような1か月後になる請求体制、審査体制である。デジタルスピードはメリットがあることは言うまでもないが、海外と同じように AX によって、変革すれば時間軸を横断する業務が生まれることを意味し、現在の事務職の業務は大きく影響を受けることになるかもしれない。日本では医療事務の育成は専門学校が主であるが、台湾では大卒、大学院卒もみられる。

ここでは、時間軸の横断を視野に入れた事務職業務の変化、韓国の病院視察と台湾の病院視察、およびその際にインタビューによる情報収集した内容から、これからの日本の医療事務はどのように変わっていくのか、その可能性や課題と思われる点について触れる。

医事課及び病院事務の未来はどうなる

シンポジスト2：小野寺 英雄（医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 経営管理部 部長）

座長：中林 梓（会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長）



小野寺 英雄（おのでら ひでお）

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 経営管理部 部長

経歴

昭和 62 年 5 月～平成 7 年 12 月 公立気仙沼病院組合

公立気仙沼総合病院（現：気仙沼市立病院）

平成 8 年 1 月～ 医療法人溪仁会

法人統括本部・理事長秘書・法人経営企画部・在宅ケア事業推進部

新琴似溪仁会クリニック兼法人経営企画室・法人本部経営企画室

平成 16 年 4 月 手稲溪仁会病院 経営管理部 経営企画室

令和 2 年 3 月 手稲溪仁会病院 経営管理部 部長 現在に至る

病院経営における医事業務とは

小野寺 英雄

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 経営管理部 部長

(はじめに)

我が国は、1948年に国民健康保険法の改正がなされるとともに、診療費の医療機関への支払いを担当する機関として、社会保険診療報酬支払基金が設立された。その後、1958年に被用者保険加入者以外の者に、国民健康保険への加入が義務付ける国民健康保険法の改正がなされ、1961年国民皆保険制度が実現しました。

以来、我が国の病院（保険医療機関）は、「診療報酬」という「公定価格」に基づき、「医療サービス提供の対価」を医業収入として支払基金から受け取り、病院を運営するための資金として運用されています。

今、病院経営は大きな転換期というよりも「変革期」を迎え、多くの医療機関がこの変革期をいかに乗り越えようかと必死になっています。

そのような中で、学会長である中林先生より、病院経営における医事課の役割を述べて欲しいとのご依頼をいただきました。

病院経営における医事業務とは何かを、当院における役割や今後の期待を込めて私見を述べさせていただきます。

(病院における医事課の役割と今後の期待)

当院の医事課の業務や役割は、診療報酬請求のみならず、施設基準管理、各種委員会事務局業務など多岐に亘っています。医事業務というのは、診療報酬を漏れなく適正に請求することは当然であるが、(当院の)経営にとっては「戦略的医事」という視点、役割も重要であると考えています。

また、診療報酬を「適正に」という表現をしましたが、診療報酬は、「保険医療機関及び保険医療療養担当規則」通称「療担規則」に定められているとおり、医師や看護師等が患者に提供した行為が適切に記録され、その記録（根拠）に基づき、該当する報酬が支払われるという制度です。逆に、適切な記録（根拠）がなければ、診療報酬は請求できないということになります。この管理（マネジメント）も医事担当職員及び診療情報管理士による管理が必要であるとともに、医師や看護師への指導も重要な役割となっています。

従来、医事課は、臓器に例えると「肝臓」や「腎臓」、「脾臓」などのように「沈黙の臓器」的な感じで捉えられている医療機関が多いようですが、当院では医事課は、病院運営を効果的かつ効率的に動かすために重要な業務を担ってくれていると評価しています。そのような意味も込めて、今後の期待を学会では申し上げます。

医事課及び病院事務の未来はどうなる

シンポジスト 3：黒川 大輔（社会保険診療報酬支払基金 情報化企画部 企画調査役 電子カルテ情報担当）
座長：中林 梓（会長・株式会社 ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長）



黒川 大輔（くろかわ だいすけ）

社会保険診療報酬支払基金 情報化企画部 企画調査役
電子カルテ情報担当

経歴

2023 年 7 月より、社会保険診療報酬支払基金 企画調査役（電子カルテ情報担当）。政府が推進する医療DXの一環として、電子カルテ情報共有サービスの開発責任者を務める。メディカル・データ・ビジョン株式会社では、病院経営分析システム事業の責任者として、DPC 分析システム、看護必要度アプリ、経営レポート、PHR などの企画に従事し、オンプレミスからクラウド基盤への移行も推進した。株式会社 JMDC では、アライアンスおよび新規データ事業を担当。長年にわたり、医療データの利活用に携わっている。

医事課および病院事務部門の未来と医療 DX

黒川 大輔

社会保険診療報酬支払基金 情報化企画部 企画調査役 電子カルテ情報担当

医療 DX（デジタルトランスフォーメーション）は、医療提供体制の持続可能性を確保するために国が主導する重要な政策であり、医療機関の業務全体に変革をもたらす可能性がある。中でも、医事課および病院事務部門は、診療報酬請求や患者情報管理、受付・会計業務など、医療の運営を支える基幹業務を担っており、DX の影響を特に大きく受ける領域の一つである。

オンライン資格確認の導入により、保険証確認がオンライン化され、受付業務の効率化と正確性向上が徐々に進展している。マイナ保険証の活用によって、患者情報の取得が確実になり、窓口業務の負担軽減につながると見込まれている。また、医療情報の標準化や共有化が進むことで、診療情報の利活用が可能となり、AI を活用したレセプトの自動点検やエラー検出により、人的チェックの負担が軽減されることが期待される。

これらの変化により、医事課および病院事務部門は、より付加価値の高い業務へとシフトしていくことが期待されている。具体的には、診療データや請求情報を活用したデータ分析、業務フローの見直しやシステム導入支援といった業務改善活動、さらには患者の利便性向上を目的とした患者対応支援など、医療機関の経営やサービス品質に直結する領域での活躍が求められるようになる。医事課は事務部門から、医療情報を活用する戦略的部門へと進化していくことが望まれている。

本演題では、国が進める医療 DX の政策的背景と支払基金の役割を踏まえつつ、医事課および病院事務部門がどのように変革していくのかを具体的に示す。DX 時代における医療事務の新たな可能性と、医療機関の持続可能な運営に向けた展望を提示する。



「医療 AI の最新の話題： 画像と自然言語処理を中心に」

11月8日（土）12：30～13：20

講師 平田 健司

北海道大学大学院医学研究院画像診断学教室 准教授

医療 AI の最新の話題：画像と自然言語処理を中心に

講師：平田 健司（北海道大学大学院医学研究院画像診断学教室 准教授）



平田 健司（ひらた けんじ）

北海道大学大学院医学研究院画像診断学教室 准教授

経歴

【学歴】

1996 年 3 月 北海道岩見沢東高等学校卒業
2002 年 3 月 北海道大学医学部医学科卒業
2011 年 3 月 北海道大学医学研究科医学専攻博士課程修了、医学博士取得

【職歴】

2002 年 5 月 北海道大学医学部付属病院 研修医
2003 年 5 月 日鋼記念病院（北海道室蘭市）研修医
2004 年 4 月 市立旭川病院（北海道旭川市）放射線科医師
2006 年 4 月 北海道大学病院 核医学診療科医員
2012 年 4 月 北海道大学大学院医学研究科 核医学分野 助教
2012 年 11 月 米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA)
Department of Molecular and Medical Pharmacology にて博士研究員
2014 年 11 月 北海道大学大学院医学研究科核医学分野 特任助教
2016 年 4 月 北海道大学大学院医学研究科 核医学分野 助教
2020 年 4 月 北海道大学大学院医学研究科 画像診断学教室 准教授、
現在に至る

【資格】

2002 年 医師免許証（第 427396 号）、保険医登録（20892）
2007 年 日本核医学会 核医学専門医（第 400141 号）
2007 年 日本医学放射線学会 放射線科専門医（第 5050 号）
2009 年 日本核医学会 PET 核医学認定医（P01133）
2011 年 日本医学放射線学会 放射線診断専門医（R11545DR）
2015 年 アジア核医学専門医（081F0007）
2018 年 日本ディープラーニング協会 G 検定合格
2019 年 第一種放射線取扱主任者免状
2024 年 JDLA Generative AI TEST 2024 #2 合格

【学会】

2021 年 日本核医学会 評議員、幹事、編集委員、PET 撮像施設
認証制度委員、会員情報電子化推進作業部会委員、
日中核医学交流運営委員
2021 年 日本放射線科専門医会(JCR)理事
2021 年 北海道脳PET-SPECT 研究会世話人
2022 年 日本医学放射線学会(JRS)編集委員、TOP GUN 第一期生、
放射線科業務量調査委員会
2023 年 日本メディカルAI学会 評議員
2023 年 日本放射線科専門医会(JCR)人工知能診療委員会委員長
2023 年 日本核医学会日中核医学交流運営委員会 副委員長
2025 年 日本医療情報学会 評議員

【雑誌編集委員】

2015 年 BMC Cancer, Associate Editor
2021 年 Annals of Nuclear Medicine, Associate Editor
2023 年 European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, Editorial Board
2023 年 Japanese Journal of Radiology, Associate Editor

【社会】

2021 年 北海道泊発電所環境保全監視協議会(技術部会)学識委員

【受賞】

2009 年 第56 回SNM YIA Symposium (Brain Imaging) ファイナリスト
2012 年 日本医学放射線学会CyPos 賞Gold Medal
2013 年 第10 回日本核医学会研究奨励賞 最優秀賞
2013 年 第60 回SNMMI Poster Award (Neuroscience / 第3 位)
2013 年 SNMMI Wagner-Torizuka Fellowship 2013/2015
2015 年 日本医学放射線学会CyPos 賞Silver Medal、日本核医学会
リターニー奨励賞
2016 年 日本医学放射線学会優秀論文賞
2016 年 Asian School of Nuclear Medicine 若手研究者賞 第1 位(Gold Award)
2019 年 北海道大学医学部医学科 エクセレント・ティーチャー(優秀賞)
2021 年 日本核医学会賞
2022 年 日本放射線科専門医会フェロー
2023 年 北海道大学医学部医学科 エクセレント・ティーチャー(優秀賞)
2025 年 日本医学放射線学会JJR Promotion Award (Silver Medal)
2025 年 日本医学放射線学会JJR Reviewer Award (Excellent Reviewer)

医療 AI の最新の話題：画像と自然言語処理を中心に

平田 健司

北海道大学大学院医学研究院画像診断学教室 准教授

かつて医療の進歩は新しい薬剤や医療機器の開発によってもたらされてきましたが、現在は急速な進展している人工知能（AI）が薬剤や医療機器と同様に診療の現場から経営の意思決定に影響しはじめています。特に画像解析と自然言語処理の分野では、診断支援や業務効率化、情報活用面で大きな成果が報告されています。本講演では、これらの技術動向を概観するとともに、医療機関の経営という観点で導入の意義と課題について考察します。

医用画像解析では、ディープラーニングを活用した病変検出、質的評価、セグメンテーション（病変の境界決定）などが進展し、診療精度の向上と同時に読影業務の負担軽減が期待されています。さらに、画質改善、被ばく低減、短時間撮影といった技術革新も進み、患者と医療現場の双方に恩恵をもたらしつつあります。自然言語処理の分野では、ChatGPT や Gemini などの大規模言語モデル（LLM）の出現により、誰もが無料ないし低料金で高度な解析を活用できる時代となりました。電子カルテや診療記録からの情報抽出・要約、レポート作成支援、診療情報の二次利用、医療安全の向上など幅広い応用が進むとともに、診療記録の自動整理やガイドライン参照、患者向け情報提供などへの AI 利用も現実味を帯びてきています。

一方で、AI 導入には課題も少なくありません。個人情報保護やデータ匿名化を含むセキュリティの問題、導入コストや ROI（投資収益率）の評価、性能を維持・検証する体制づくり、さらには生成 AI 特有の「ハルシネーション（AI が事実と異なる出力をする現象）」や説明可能性といった課題にも十分な対応が求められます。加えて、現場の職員における AI/DX に対する心理的抵抗や拒否感も、導入効果を左右する大きな要因です。私は一放射線科医に過ぎず経営の専門家ではありませんが、こうした課題を経営層の皆様とともに整理し、乗り越える方法を考えていきたいと考えています。

本講演では、最新の研究事例や導入事例を踏まえ、医療 AI の可能性と限界を明らかにしつつ、経営層が戦略的に意思決定を行う際のヒントを共有します。画像解析と自然言語処理を切り口として、AI をいかに現場と経営に橋渡しし、持続的な価値創造につなげるかを一緒に考えていただければ幸いです。



サッポロさとらんど 幌馬車



札幌まちばしゃ



「新たな地域医療構想 その背景とこれからの病院運営」

11月8日(土) 14:00～14:50

講師 迫井 正深
厚生労働省 医務技監

座長 大道 久
日本医療経営学会 理事長

新たな地域医療構想 その背景とこれからの病院運営

講師：迫井 正深（厚生労働省 医務技監）

座長：大道 久（日本医療経営学会 理事長）



大道 久（おおみち ひさし）

日本医療経営学会 理事長

日本大学名誉教授

JCHO 横浜中央病院名誉院長

経歴

1970年 東京大学医学部卒業
 1977年 同大学院博士課程修了 医博
 1977年 国立病院医療センター（当時）臨床研究部医用生体工学室長
 1982年 日本大学医学部病院管理学教室助教授
 1989年 日本大学医学部医療管理学教室教授
 2010年 同退職、同客員教授
 2010年 社会保険横浜中央病院病院長
 2011年 日本大学名誉教授
 2014年 独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）横浜中央病院病院長
 2015年 同退職 JCHO 横浜中央病院名誉院長

他

【現在の公職・団体役職等】

神奈川県 地域包括ケア会議・在宅医療推進協議会 委員長
 国家公務員共済連合会 評価委員会 委員
 川崎市立病院 運営委員会 委員長
 一般社団法人日本医療経営学会 理事長
 一般社団法人医療関連サービス振興会 評価認定制度委員会委員長
 公益財団法人医療科学研究所 監事
 一般社団法人日本病院会 モダンホスピタルショウ委員会委員長
 一般社団法人日本経営協会 ホスピタルショウ委員会委員長

【近年の公職・主要学会・団体等】

東京都医療審議会（元会長）、都立病院経営委員会（元委員長）、日本医療福祉設備協会（元会長）、日本医療福祉建築協会（元副会長）、日本医療病院管理学会（元理事長）、日本バランスドスコア研究学会（元理事）、神奈川県地域医療を考える会（前代表）

他

新たな地域医療構想 その背景とこれからの病院運営

講師：迫井 正深（厚生労働省 医務技監）

座長：大道 久（日本医療経営学会 理事長）



迫井 正深（さこい まさみ）

厚生労働省 医務技監

経歴

1989 年～東京大学医学部卒業、東大病院、虎の門病院等で外科臨床

1992 年 厚生省入省、1995 年 ハーバード大学公衆衛生大学院

2006 年～広島県健康福祉局長

2009 年～厚労省復帰後、介護報酬改定、地域医療計画、診療報酬改定の担当課長を歴任

2018 年～医政局審議官を経て医政局長

2021 年～内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長・内閣審議官

2023 年 7 月～厚生労働省医務技監

新たな地域医療構想 その背景とこれからの病院運営

迫井 正深

厚生労働省 医務技監

わが国の医療はかつてない困難な局面に晒されている。

従前から指摘され続けてきた厳しい財政状況に折り重なる急激な物価賃金の高騰は、これまでの低成長経済（長期デフレ）から成長軌道への転換局面で生じただけでなく、国際社会の対立・紛争に伴うエネルギー確保や貿易・経済安全保障といった国際政治環境の激変に伴うものである。病院経営を直撃するこれらの短期的変動に対してどのような対処が可能なのか、政治を中心とした関係者による模索が続いている。

一方、将来の人口構成が急激かつ着実に変遷しようとしている中で、社会基盤である「医療システム」を健全な形で維持発展させることも求められている。その中核的課題は、医療の長期的な需給バランスの調整であり、“あるべき提供体制”をどのようにデザインし維持するのかである。

このような視点から、2013年の社会保障制度改革国民会議を源流とする「地域医療構想」が、団塊の世代が75歳以上となる2025年をターゲットに策定されてきた。そして、将来を見据えた提供体制整備の努力は今後も更に継続する必要がある。この意味で、政策展開“第二幕”としての「新たな地域医療構想」が制度整備されつつある本年2025年は、更なる医療の未来を切り開く時機と言えるだろう。

重要なことは、従前の取り組みを踏まえた次なる展開である。すなわち、これまで打ち出されてきた“地域包括ケアシステムの構築”の概念や制度の枠組みをも大きく捉え直しながら、より効果的な推進方策として、各地で展開された取り組みの「成果」と「限界」を今後に活かすことにある。

具体的には、病床機能区分の見直しに加えて、地域医療の事業体・意思決定主体であるそれぞれの“病院”が果たす機能的な役割を制度として明確にする「病院機能」、多様化する地域性を踏まえた構想区域・協議参加者の弾力化などである。そして、これらの制度的枠組みの見直しをもたらす地域医療体制の変革を、病院運営にどう活かしていくのか、が改めて問われることになる。

このような2040年を見据えた次なる政策展開を象徴する「新たな地域医療構想」について、参加者と共有できれば幸いである。



「若手経営者の取り組み」

11月8日(土) 15:00～16:50

- シンポジスト 1 矢野 裕典
洛和会ヘルスケアシステム 理事長
- シンポジスト 2 石見 陽
メドピア株式会社 取締役会長 (医師・医学博士)
- シンポジスト 3 武久 敬洋
平成医療福祉グループ 代表
- 座長 高橋 泰
国際医療福祉大学大学院教授・専攻主任

若手経営者の取り組み

シンポジスト1：矢野 裕典（洛和会ヘルスケアシステム 理事長）

シンポジスト2：石見 陽（メドピア株式会社 取締役会長（医師・医学博士））

シンポジスト3：武久 敬洋（平成医療福祉グループ 代表）

座長：高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授・専攻主任）



高橋 泰（たかはし たい）

国際医療福祉大学大学院教授・専攻主任

経歴

1959年石川県金沢市生まれ。1986年金沢大学医学部卒、東大病院研修医（1内、3内、2内、麻酔科）、東京大学大学院医学系研究科修了（医学博士（医療情報））、米国スタンフォード大学アジア太平洋研究所客員研究員、ハーバード大学公衆衛生校武見フェローを経て、1997年より国際医療福祉大学教授。

2016年9月より2021年まで安部内閣未来投資会議・構造改革徹底推進会合の医療福祉部門副会長。

2024年より、厚生労働省新しい地域医療構想検討会構成員

専門は、ICTを活用した医療・介護の生産性向上、地域別のヘルスケアデータを活用した医療・介護提携体制の再構築。

若手経営者の取り組み

シンポジスト1：矢野 裕典（洛和会ヘルスケアシステム 理事長）

座長：高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授・専攻主任）



矢野 裕典（やの ゆうすけ）
洛和会ヘルスケアシステム 理事長

経歴

学 歴

平成 26 年 3 月 帝京大学 医学部医学科 卒業

職 歴

平成 29 年 4 月 帝京大学医学部附属溝口病院 勤務

平成 31 年 4 月 医療法人社団 洛和会 副理事長 就任

令和 4 年 4 月 医療法人社団 洛和会 理事長 就任

令和 6 年 2 月 学校法人洛和学園 洛和会京都看護学校 理事長

令和 7 年 4 月 社会福祉法人 洛和福祉会 理事長

逆境を進化に変える ― 継承と連携で描く病院経営の未来

矢野 裕典

洛和会ヘルスケアシステム 理事長

少子高齢化、受療率の低下、社会保障費の抑制。こうした逆風は、日本の病院経営に共通する大きな課題です。

この状況下で病院がどう進化し、持続可能性を確保していくかは、私たち若手経営者に託された使命でもあります。

洛和会ヘルスケアシステムは、創業以来「挑戦」を重ね、医療から介護、保育、教育、街づくりに至るまで領域を広げてきました。

その歴史は法人のアイデンティティであり、私はこれを「継承」すべきものと考えています。一方で、現代の経営課題に応えるためには、新たな「連携」を基盤とした「進化」が不可欠です。本発表では、洛和会の取り組みを事例として紹介しつつ、「継承と進化」という視点から次世代の病院経営のあり方を考察します。

具体的には、①地域包括ケアを見据えた連携の在り方、②職員を基盤とした持続可能な経営改革、③病院の枠を超えた社会的価値創造、の三つを軸に整理します。

これらの実践は、特別な環境に依存するものではなく、多くの法人にとって参考となる取り組みであると考えています。したがって本シンポジウムでは、洛和会の経験を単なる事例報告にとどめるのではなく、各法人が自らの「継承すべきもの」と「進化させるべきもの」を見極める際の一助となることを目指しています。

逆境を進化の契機に変える視点を共有しながら、これからの病院経営の未来像を共に考える場としたいと思います。

若手経営者の取り組み

シンポジスト2：石見 陽（メドピア株式会社 取締役会長（医師・医学博士））

座長：高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授・専攻主任）



石見 陽（いわみ よう）

メドピア株式会社 取締役会長（医師・医学博士）

経歴

学歴

平成2年4月～平成5年3月 成田高等学校

平成5年4月～平成11年3月 信州大学医学部

平成11年5月 第93回医師国家試験に合格

職歴

平成11年4月～平成16年3月 東京女子医科大学循環器内科勤務

平成17年4月～平成28年3月 苑田会苑田第一病院

平成16年12月～令和6年12月 株式会社メディカル・オブリージュ

（現 メドピア株式会社）設立

代表取締役社長

令和6年12月～

取締役会長就任

現在にいたる

「未来の医療を支えるための『経営力』 ——集合知・現場・人材育成を結ぶ視点」

石見 陽

メドピア株式会社 取締役会長（医師・医学博士）

1999年に臨床医となり、2004年に医師専用のコミュニティサイト「MedPeer」を創業して以来、私は医療とテクノロジーを融合させた新たな医療支援の形を模索してきた。当時、医療現場においては医師同士が本音で情報を共有できる場が乏しく、知の断絶が存在していた。そこで、医師間で知見をオンライン上で共有し合う仕組みを構築することで、診療の質や判断の精度を高め、最終的には患者の利益に資することを目指した。その結果、現在では約18万人の医師が参加する集合知プラットフォームへと発展し、医療の質向上に寄与する基盤となっている。

一方で、テクノロジーのみでは医療全体を変革することは困難であると考えている。2017年から医療法人を立ち上げ、現在は4つの医療法人（病院・クリニック）を運営し、現場に根ざした医療提供の変革にも取り組んでいる。制度的制約や地域医療の実情を踏まえつつ、オンラインとオフラインの両輪で医療の未来を形づくることを目指している。

さらに、本年MBOを実施し、非上場化によって中長期的な事業構築に経営資源を集中できる体制を整えた。中長期的な取り組みの一環として、「未来医療人育成財団（仮称）」を設立し、医師やコメディカル・事務職、さらには未来を担う子どもたちを対象に、教育・交流・国際貢献といった多面的な支援活動を展開する予定である。

本講演では、これらの3つの活動に通底する「経営力」をテーマに参加者の皆様と議論を深めたいと考えている。

若手経営者の取り組み

シンポジスト3：武久 敬洋（平成医療福祉グループ 代表）

座長：高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授・専攻主任）



武久 敬洋（たけひさ たかひろ）

平成医療福祉グループ 代表

経歴

徳島県神山町在住。3人の子どもの父。2010年、平成医療福祉グループへ入職。以降、病院や施設の立ち上げなどに関わりながら、グループの医療・福祉の質向上に取り組む。2022年、グループ代表に就任。共同編集した著書に『慢性期医療のすべて』（2017 メジカルビュー社）がある。

平成医療福祉グループの取り組み

武久 敬洋

平成医療福祉グループ 代表

平成医療福祉グループは、40年にわたり地域医療と福祉を担ってきた。現在は全国に100を超える病院・介護・福祉施設を展開する、日本有数の医療福祉グループである。創業期には、先代の強力なリーダーシップのもとで急速に事業を拡大してきた。しかしその反面、現場では「自分の意見を言わない」「決められた業務をこなすだけ」という職員が大半を占め、組織全体が自律性や創造性を欠いていた。それは当然のことながらサービスの質の低下にも結びついていた。

二代目として経営を引き継いだ私にとって最大のミッションは、サービスの質を向上させることであった。そのためには、この巨大組織を「やらされる職場」から「自ら考え行動できる職場」へと変えることが必要だった。多数の病院・施設の質を同時に高めることは、経営者一人のリーダーシップでは不可能であり、多くの主体的に動くリーダーとスタッフが求められた。サービスの質向上のために様々な取り組みを行い、スタッフ育成も手探りながら進めてきた。しかし必要な変化の速度には到底到達しなかった。多数のスタッフに理念や方針を迅速かつ的確に伝えるには、どうすればよいのか。

その答えが「HMW VISION BOOK 2024」である。企画開始から約2年、数々のワークショップや視察、無数のミーティングを経て、私たちが大切にしていること、やってきたこと、これからやることを、誰にでも分かる平易な文章とイラストで丁寧にまとめた冊子が完成した。理念と未来像を明文化し、全職員に共有することで、組織の判断基準と共通言語を作り上げた。単なる経営スローガンではなく、日々の行動を支える“羅針盤”ができあがったのである。

導入以降、現場には明確な変化が現れている。経営陣の考え方や職員を大切にする姿勢が伝わり、安心感が生まれた。そして狙い通り、スタッフは指示を待つのではなく、自ら考え提案し、楽しそうに仕事に取り組む姿が増えている。やらされ感から解放され、主体的に動く雰囲気が確実に育ちつつある。

本シンポジウムでは、平成医療福祉グループの取り組みを「HMW VISION BOOK 2024」を軸に報告し、次世代の医療福祉経営の展望について共有し、議論を深めたい。



クラーク博士像



さっぽろ羊ヶ丘展望台



オンライン配信

「社会医療法人と社会福祉法人の統合法人本部の組織構築」

講師 中村 直子

社会医療法人仁厚会 理事、統括事務部長

「医療 DX を担う支払基金—医療情報基盤・診療報酬 審査支払機構支払基金が構築する医療 DX」

講師 黒川 大輔

社会保険診療報酬支払基金情報化企画部 企画調査役 電子カルテ情報担当

「医療機関のリースの活用法 ～新リース会計基準適用を契機に「モノ」の所有について考える～」

講師 岡安 保雄

芙蓉総合リース株式会社 社長付 ヘルスケアドメイングループ統括 本審議役・参与

「地域包括ケア病院から地域包括医療病院への転換」

講師 菊地 晶紀

医療法人財団興和会 右田病院 法人理事 兼 法人本部本部長

「“連携”のその先へ—医療・介護統合モデルの構築」

講師 酒井 麻由美

株式会社リンクアップラボ 代表

社会医療法人仁厚会・社会福祉法人敬仁会統括本部の組織構築

講師：中村 直子 社会医療法人仁厚会 理事、統括事務部長



中村 直子（なかむら なおこ）

社会医療法人仁厚会 理事、統括事務部長
社会福祉法人敬仁会 監事

経歴

【勤務歴】

平成 4 年 4 月 某企業にシステムエンジニアとして入社
平成 10 年 5 月 医療法人仁厚会 入職
平成 11 年 8 月 社会福祉法人敬仁会 転籍
平成 12 年 1 月 医療法人仁厚会 転籍
(中略)
平成 26 年 4 月 社会医療法人仁厚会 藤井政雄記念病院 事務部長
平成 27 年 10 月 社会医療法人仁厚会 医療福祉センター倉吉病院 事務部長
平成 28 年 4 月 社会医療法人仁厚会 統括本部事務部長
平成 31 年 4 月 社会医療法人仁厚会 理事、統括本部統括事務部長
// 社会福祉法人敬仁会 監事
現在に至る

【資格】

国立医療病院管理研究所 病院管理専攻科修了
一般社団法人日本病院会認定 病院経営管理士（登録番号 373 号） 他

【所属学会】

日本医療経営学会
日本病院会 病院経営管理士会

社会医療法人仁厚会・社会福祉法人敬仁会 統括本部の組織構築

中村 直子

社会医療法人仁厚会 理事、統括事務部長

社会福祉法人敬仁会 監事

1. 法人の紹介

仁厚会(昭和30年設立)と敬仁会(昭和33年設立)は、鳥取県を中心に医療・福祉事業を展開する法人であり、東京都にも施設を有する。両法人合わせて職員数約2,400名、事業規模約155億円。医療・福祉施設、保育所、在宅サービスなど多岐にわたる事業を展開している。

2. 歴史的背景

設立の背景には「鳥取県から浮浪者をなくそう」という初代理事長の理念があり、医療法人と福祉法人が設立された。社会福祉法人は安定した運営を続けた一方、医療法人は長年赤字経営に苦しみ、平成9年の病院新築を契機に経営改善が進んだ。

3. 統括本部発足の経緯

平成15年、当時の理事長命により両法人の本部機能を統合した「総合事務所」が設置され、重複業務の排除と経営効率化を目指した。しかし経営者の思いとは裏腹に、事業所も本部も、独立採算性の追求により分断が生じ、書類ロッカーによる「ベルリンの壁」と呼ばれる象徴的な隔たりが生まれた。

4. 統括本部のその後の経過

事務系トップの交代や、理事長交代を経て、雪どけを迎える。組織の相互牽制体制の構築、人材交流(在籍出向)、共通理念の設定、合同研修・広報誌の統一などを通じて融合が進展していった。新型コロナ対応では法人間の連携が強化された。統括本部での専門職配置や階層別研修、事業別協議会の設置など、統括本部の機能も拡充された。

5. 現在の統括本部業務

統括本部は事業所が本来業務に注力できるよう、寄り添い、サポートし、グリップし監督することをモットーにしている。事業所支援、人材確保・育成・定着、内部監査、DX推進、災害対策、新規事業検討などを担う。鳥取県内での海外介護留学生の確保スキームも開発し、地域活性化と安定的な人材確保にも寄与できていると考えている。

6. 課題と未来 ～時代の変遷を見据えて～

人口減少社会の中、経営環境は悪化し、更に細かな経営管理が必要となっている。加えて、人口最小県での人材確保の困難を極める。法人の融合の限界も感じる。広く経済効率を考えると、医療と福祉、法人の一本化を目指す時代が来るかもしれない。

とはいえ、どんな状況下でも「地域の困っている人へ寄り添う」という使命に向けて「あきらめない精神」をもって「全体最適」を目指すことが我々の理念の達成に近づくと考えている。この共通価値観のもと、力を合わせてやっていくことを将来に引き継ぐことが今の我々の使命と考えている。

医療 DX を担う支払基金－医療情報基盤・診療報酬 審査支払機構支払基金が構築する医療 DX

講師：黒川 大輔 社会保険診療報酬支払基金 情報化企画部 企画調査役 電子カルテ情報担当



黒川 大輔（くろかわ だいすけ）

社会保険診療報酬支払基金 情報化企画部 企画調査役
電子カルテ情報担当

経歴

2023 年 7 月より、社会保険診療報酬支払基金 企画調査役（電子カルテ情報担当）。政府が推進する医療DXの一環として、電子カルテ情報共有サービスの開発責任者を務める。メディカル・データ・ビジョン株式会社では、病院経営分析システム事業の責任者として、DPC 分析システム、看護必要度アプリ、経営レポート、PHR などの企画に従事し、オンプレミスからクラウド基盤への移行も推進した。株式会社 JMDC では、アライアンスおよび新規データ事業を担当。長年にわたり、医療データの利活用に携わっている。

医療 DX を担う支払基金－医療情報基盤・診療報酬 審査支払機構支払基金が構築する医療 DX

黒川 大輔

社会保険診療報酬支払基金 情報化企画部 企画調査役 電子カルテ情報担当

支払基金は、1948年に設立されて以来、診療報酬の審査・支払を担う中核機関として、国民皆保険制度の安定的な運営に寄与してきた。2003年の民間法人化、2022年の組織改革を経て、現在は全国14拠点に集約され、業務の効率化と高度化を進めている。こうした背景のもと、支払基金は政府が推進する医療DXの中核機関として、今後の医療情報基盤の構築を担う役割を果たすことが期待されている。

医療DXの推進は、2040年に向けた高齢化の進展と医療需要の増加に対応するための重要な施策であり、電子カルテ情報の共有、マイナ保険証の活用、電子処方箋の導入、全国医療情報プラットフォームの整備などが工程表に沿って進められている。支払基金は、これらの施策を技術的・運用的に支える立場として、医療情報の標準化、クラウド化、セキュリティ強化などに取り組んでいる。

2025年度以降、支払基金は「医療情報基盤・診療報酬審査支払機構」への改組を予定しており、医療DXの開発・運用主体としての機能を本格的に担うことになる。これにより、従来通り審査業務の独立性は保たれると共に、医療DXに関する意思決定が一元的に行える体制が整備される。

本講演では、支払基金の歴史的背景と制度的な位置づけを振り返りつつ、医療DXに向けた改組の方向性と、今後の展望について紹介する。さらに、支払基金が今後果たすべき役割と展望について考察し、持続可能な医療提供体制の構築に貢献する役割を明らかにする。

医療機関のリースの活用法 ～新リース会計基準適用を契機に「モノ」の所有について考える～

講師：岡安 保雄 芙蓉総合リース株式会社 社長付 ヘルスケアドメイングループ統括
本審議役・参与



岡安 保雄（おかやす やすお）

芙蓉総合リース株式会社 社長付 ヘルスケアドメイングループ統括 本審議役・参与

経歴

【資格】

宅地建物取引主任者

公益社団法人 日本医業経営コンサルタント協会

認定登録 医業経営コンサルタント

【経歴】

1985年3月 慶応義塾大学理工学部 卒業

1985年4月 みずほ銀行（旧富士銀行） 入行

2006年5月 みずほ銀行法人マーケティング部 医療分野担当部長

2018年7月 みずほ銀行 退社

2018年8月 現職

みずほ銀行と芙蓉総合リースの医療専担者として通算20年間。

日本赤十字と済生会全病院の他、関東、中部、北陸、関西、九州、沖縄の医療機関を担当し、20年で延べ6,000病院以上を営業で訪問。

【講演】

日本医療法人協会、日本赤十字社事務部長会、日本赤十字社会計課長会議、済生会事務部長会、済生会会計課長会、福岡県病院協会、日本医療経営学会、滋賀県大津市病院協会。

その他 多数の病院において、医療機関の財務管理会計、設備投資、資金効率、事業承継、医療法改正、診療報酬改定に亘る幅広い分野の講師を務める。

【執筆】

最新医療経営フェイズスリー（日本医療企画）

ヘルスケア&ファイナンス（日本医療企画）

医療経営士（日本医療企画）

金融ジャーナル（日本金融通信社）

病院（医学書院）

医療機関のリースの活用法

～新リース会計基準適用を契機に 「モノ」の所有について考える～

岡安 保雄

芙蓉総合リース株式会社 社長付 ヘルスケアドメイングループ統括 本審議役・参与
アクリーティブ株式会社 エグゼクティブアドバイザー

【背景】

2027年4月より「新リース会計基準」が適用される。医療機関の経営者としては、「新リース会計基準」がどんな影響をもたらすかを理解しておく必要がある。加えて、あらゆる「モノ」が高騰し、なかんずく、建築コストは途方もなく急騰している。「モノ」を購入すれば、イニシャルコストが発生する。このイニシャルコストの平準化は事業計画を立てる上でも、立てた計画の実効性、継続性を担保する上でも重要であり、そのために活用されるのがリース・レンタルと言える。

2040年まで15年。本格的な高齢者人口減少を鑑みると「モノ」を所有することについて、見詰め直す時期に来ていると考える。

【手法】

実際に弊社の顧客が利用しているリース・レンタルの事例を取り上げ、個別の「モノ」ごとにメリット、デメリットを分析する。

【結果】

購入する「モノ」はその価格だけではなく、「モノ」の管理やメンテナンス等に関わる間接的なコストや近い将来に向けての技術革新による陳腐化なども考慮する必要がある。

また、「新リース会計基準」によって対応しなければならない医療機関特有のリスクについても検証が必要である。

【考察】

医療業界はまだアナログである。AIなどの技術革新によって全く新しい院内運用に変化する、あるいは、さまざまな機器やデバイスが陳腐化するという懸念もある。そういう環境下で、高齢者人口が減少に転じる2040年を見据えると、「モノ」の持ち方も従来と同じで良いか、考える必要があるのではないか。

地域包括ケア病院から地域包括医療病院への転換

講師：菊地 晶紀 医療法人財団興和会 右田病院

法人理事 兼 法人本部本部長、地域包括ケア推進病棟協会機能評価委員会アドバイザー



菊地 晶紀（きくち あきのり）

医療法人財団興和会 右田病院
法人理事 兼 法人本部本部長、
地域包括ケア推進病棟協会機能評価委員会アドバイザー

経歴

2003 年 3 月 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 放射線技術科学科を卒業後、診療放射線技師として健診会社、病院、PACS メーカーでの従事を経て、2010 年の 9 月に医療法人財団興和会への入職。右田病院システム管理室室長として着任し、右田病院移転新築事業（建築、物品管理、システム導入）に携わる。現在法人全体の管理運営を法人本部長として従事している。

地域包括ケア病院から地域包括医療病院への転換

菊地 晶紀

医療法人財団興和会 右田病院 法人理事 兼 法人本部本部長
地域包括ケア推進病棟協会機能評価委員会アドバイザー

【はじめに】

当院は2008年より経営改革を推進し、「救急医療体制の再構築」を掲げて高齢者救急受け入れ体制を整備してきた。高齢救急搬送の増加に対応し、急性期から在宅までの一貫した医療提供を目指して地域包括ケア病棟を運用、さらに2024年6月に全病棟を地域包括医療病棟へ転換した。本研究はその経過と成果を明らかにすることを目的とした。

【方法】

2008～2024年の救急搬送患者を対象に、入院料選択の推移、平均在院日数、重症度・看護必要度などの医療指標、病床稼働率・医業収支などの経営指標を比較検討した。特に2023年の地域包括ケア病棟期と、2024年転換後の地域包括医療病棟期の差異を解析した。

【結果】

救急搬送件数は2008年度の約1,000件から2024年度に約2,000件へ増加し、うち75歳以上が68%を占めた。転換後は多職種連携の強化により平均在院日数が20.90日から19.49日に短縮し、約98%の患者でADL維持または改善を認めた。病床稼働率は79.4%から87.1%に上昇し経営効率も向上したが、平均在院日数短縮に伴い再入院率が0.4%上昇した。

【考察】

地域包括医療病棟への転換は、救急から在宅までを一体的に支援可能とする体制整備につながった。早期リハビリと多職種協働が定着し、在宅復帰支援の質と迅速性が改善した。経営改革と医療機能拡充の両立を通じて、地域包括ケアシステムの中核的役割が明確化された。

【結語】

地域包括医療病棟への全床転換により、高齢者救急医療と包括的地域医療の統合が実現した。今後在宅医療・介護との連携を深化させ、データに基づく検証を通じて地域医療構想の具体化に寄与していく。

“連携”のその先へー医療・介護統合モデルの構築

講師：酒井 麻由美 株式会社リンクアップラボ 代表



酒井 麻由美 (さかい まゆみ)
株式会社リンクアップラボ 代表

経歴

【資格】

(社) 日本医業経営コンサルタント協会認定
医業経営コンサルタント (運営) 登録

【略歴】

1996年10月 医療法人 急性期病院 入職、
医事課リハビリ部門、入院部門 配属
2002年10月 医療・介護専門コンサルティング会社 入社
2013年 同副所長 取締役就任
2018年12月 株式会社リンクアップラボ 設立

【セミナー講演】

日医業経営コンサルタント協会、MMPG、社会福祉協議会、医師会、保健医療福祉サービス研究会、総合メディカル、銀行、精神病院協会、S-QUE 研究会、税理士事務所、Bizアップ総研、全日病、精神科病院協会、WAM、企業主催セミナー 等 セミナー、研修実績：年間 80 回以上

【執筆活動】

医学通信社「月刊保険診療」、医学書院「看護管理」、福祉医療機構「月刊 WAM」、QOL サービス「デイの経営と運営」、医業経営コンサルタント協会「JAHMC」、その他医業・介護経営雑誌へ原稿執筆

【コンサルティング実績】

定期訪問による経営相談対応 (経営全般)
中長期経営計画策定、経営診断
病床再編・病床転換に伴う支援 (転換シミュレーションなど)
建替え・増改築に伴う施設基準届出の支援
新規事業立ち上げにかかる支援
レセプト診断及び分析、査定減点对策
増収・増患対策 (営業戦略・広報戦略の立案など)
医療・介護現場の運営指導 (医事、看護、リハビリ、その他コメディカル、介護、事務部門など)

“連携”のその先へー医療・介護統合モデルの構築

酒井 麻由美

株式会社リンクアップラボ 代表

2040年を見据えた新たな地域医療構想においては、入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携等を含む、医療提供体制全体の課題解決を図ることが掲げられています。今までは、病気や怪我をしたら病院で治療をする（急性期→回復期、在宅困難は慢性期）という流れであったものを、入院が必要なときは病院で治療し、その後は地域（在宅・介護）で続きの治療をするという、病床の機能分化・連携を中心とした地域医療構想をバージョンアップし、入院医療だけでなく、外来医療・在宅医療、介護との連携をしながら、患者さんの近い場所＝地域で暮らしながら治療をするという仕組みが想定されています。

すでに、介護施設や高齢者住宅は、治療後早期に退院された方や、慢性期の病床に長期入院されていたような方を受け入れているところも増えたこともあり、急性増悪による夜間含む高齢者の救急搬送が増えていることもあり、2024年改定で地域包括ケア病棟等と介護施設のより具体的な連携の取り組みを設定した評価が新設されました。救急搬送されるほど重症化してしまうと回復が困難となり、元の場所に帰れないことも多くなるため、施設側の早期発見と病院側の早期対応につながるような連携方法を要件となっています。

また、病院側も急性増悪する前の患者の状態や背景が早期に把握できれば早期に治療方針を設定し治療をすすめていくことが出来ることもあり、居宅介護支援事業所のケアマネや介護施設側が患者の情報提供を早期に行なう評価が設定されています。

このように、早期に患者を地域に帰すための仕組みを、医療側だけではなく介護側にも患者の治療過程の場面場面で診療報酬や介護報酬に細かく落とし込まれています。

さらに、患者情報の共有という点では、ICTを活用した医療機関同士や医療期間・介護施設、事業所の情報共有の評価が増えており、一人の患者情報に関わる職種が同時に把握でき、さらにその情報を基に対応した内容が、文書だけではなく写真や動画でも可能となることで、医療や介護サービスの質の向上にもつながっていくこととなり、ICTを介した情報共有の評価はより充実していく見込みです。

私からは、これらの医療及び介護報酬上の評価をもとに、医療・介護融合モデルの構築の仕組みについてお伝えさせていただきます。

協賛企業一覧



第24回 日本医療経営学会学術集会・総会

第24回 日本医療経営学会学術集会・総会 開催にあたりましては、下記企業様より多大なご支援・ご後援ならびにご協賛をいただきました。心より感謝申し上げます。

第24回日本医療経営学会 学術集会・総会

会長 中林 梓 (株式会社ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役・所長)

協賛企業 (五十音順)

司法書士法人 相澤事務所	社会保険労務士法人 佐藤労働法務事務所
株式会社アストロステージ	社会保険研究所
株式会社イトホリ東京	西松建設株式会社札幌支店
株式会社ウイルメディックス	日本パーキング株式会社
エア・ウォーター産業・医療ガス株式会社	株式会社パースジャパン 札幌営業所
株式会社 SMC	有限会社 美工堂 阿部組
株式会社エラン	株式会社双葉工建
株式会社ケイズ	株式会社ファイブ・ウェーブ
ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社	株式会社リ・ウインズ
札幌臨床検査センター株式会社	株式会社リンクアップラボ

動画広告協賛企業 (五十音順)

HTD 株式会社	北海道コカ・コーラボトリング株式会社
株式会社エラン	ストルツメディカル・ジャパン株式会社
キッセイ薬品工業株式会社 北海道支店	株式会社ツルハ
キャノンメディカルシステムズ株式会社	東邦薬品株式会社 北海道営業部
クラシエ薬品株式会社	西松建設株式会社札幌支店
KDDI まとめてオフィス株式会社北海道支店	日本パーキング株式会社
ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社	株式会社モレーンコーポレーション

広告協賛企業（五十音順）

アステラス製薬株式会社

大成温調株式会社東北支店

株式会社アストロステージ

株式会社竹山 中央支店

有限会社アルファ・コミュニケーション

東邦薬品株式会社 北海道営業部

株式会社イーメディカル東京

株式会社西原衛生工業所 札幌支店

株式会社エラン

西松建設株式会社札幌支店

株式会社 SMC

日揮株式会社

キャノンメディカルシステムズ株式会社

日本電設工業株式会社北海道支店

キングラン株式会社 北海道支社

株式会社パースジャパン 札幌営業所

三建設備工業株式会社北日本支社北海道支店

株式会社ファイブ・ウェーブ

株式会社シーエスアイ

株式会社フィリップス・ジャパン

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社札幌支店

フランスベッド株式会社

ソニーマーケティング株式会社

株式会社北基サービス

第一三共株式会社

持田製薬株式会社

まだないくすりを 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

院内の診療データを1つのシステムで統合化 全診療データを一元的に管理する次世代システム



診療データビューア

カルテビューアとしてリアルタイムで患者ごとの全データを参照可能な時系列ビューア

部門システムの統合化

放射線部門や生理部門といったさまざまな部門の垣根を越えてシステムを統合し、データそのものを統合管理

文書管理機能

弊社システムと連携して、文書作成、紙文書のスキャン、タイムスタンプの付与、デジカメデータ管理までが可能

通常の施設では数十におよぶ部門システムが存在し、それぞれはリンクのみで繋がっているだけで、データ連携性もシステムの継続性も保たれていません。STELLAR（ステラ）は院内の各部門のデータを一元的に管理できる診療情報統合システムで、単なる部門と連携するポータルシステムではありません。STELLAR 自身で各部門システムを構築ができ、各部門の特殊性を保ちつつ、同一の操作性で診療データを統合できます。これにより院内に散らばる各部門システムは不要になり、1システムで電子カルテ情報も含む診療情報の一元化が可能です。

東京本社

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-1 PMO神田司町5F
Tel:03-5289-7740/FAX:03-5289-7742

大阪支社

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-3-39 新大阪NKビル3F
Tel:06-6398-5200/FAX:06-6398-5225

札幌支社

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3-2 井門札幌ビル10F
Tel:011-208-6980/FAX:011-208-6977

仙台支店

〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-6 EVER-仙台駅前ビル501
Tel:022-217-0506/FAX:022-217-0507

福岡支店

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6 第3博多徳成ビル803
Tel:092-418-3020/FAX:092-418-3021

鹿児島支店

〒892-0846 鹿児島市加治屋町15-9 大同生命鹿児島ビル102
Tel:099-216-8368/FAX:099-216-8369

岩手支店

〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15-19 盛岡フコク生命ビル5F
Tel:019-629-2221/FAX:019-629-2222

愛媛支店

〒790-0005 松山市花園町3-21 朝日生命松山南堀端ビル10F
Tel:089-987-6102/FAX:089-987-6103

Alpha Communication

医療を通じて 社会貢献

医療現場のサポートを第一に
迅速に・正確に確かな対応を

- 眼科医療機器 (高度管理医療機器) ●開業プランニング
- 眼内レンズ (高度管理医療機器) ●アフターメンテナンス (特定保守医療機器修理業)



有限会社

アルファ・コミュニケーション

Alpha Communication

〒003-0801 札幌市白石区菊水1条1丁目3-34

お気軽にお問い合わせ下さい

☎011-832-1891

FAX 011-832-1899



遠隔画像診断支援サービス

“依頼医に応える画像診断”

診療放射線技師

依頼目的と送信画像、返却レポートの確認により依頼医と読影医の橋渡しを行います。

専門の画像診断医

統一性のあるレポート、サブスペシャリティ領域により高品質な画像診断を行います。

遠隔画像診断システム

グループ内でのシステム開発により、施設や目的にあったソリューションを提供します。



読影メニュー【診療】CT / MR / RI / 冠動脈CT / 心臓MR / 大腸CTなど
【健診・検診】胸部CR / 胃透視 / MMG / 眼底など

大腸CT検査(CTcolonography)

特定非営利活動法人 大腸CT推進支援センターとの連携により

導入支援・技術指導・遠隔画像診断

導入に向けた勉強会 / 前処置法のご相談 / 撮影技術指導を含む支援を行っています。

遠隔画像診断では『Ax画像の送信のみ』で、大腸CT専門技師による解析を行い、専門医による撮影範囲全体の読影レポートと3次元画像をあわせて返却いたします。

遠隔読影に関するお問合せは



株式会社
イーメディカル東京

〒104-0061
東京都中央区銀座7丁目15-5 共同ビル2階
TEL 03-3542-3588 FAX.03-3542-3587



<https://www.emedicaltokyo.co.jp/>

ELAN

CSセット

全国
2589以上の
施設様に導入

日額定額制

- 手ぶらで入院
- 手ぶらで面会
- 手ぶらで退院

衣類



タオル類



日常生活用品



エランの「CSセット」が選ばれる理由 厳選3

1 入院費保証 (CSセットR)



ご利用者さまに代わって、入院費用の立替払いを行うサービスです。

- ☑収入が不安定になった方でも、安心
- ☑病院さまとしても未収金の心配が不要

2 トラブル保証 (CSセットLC入院保証)

1事故につき、最大100万円まで補償

保証対象の事故例

- ご利用者さまが、
- ☑誤ってナースコールの線を破損させてしまった
 - ☑紙おむつを便器に流して配管を詰まらせてしまった
 - ☑他の患者さまと接触して負傷させてしまった

ご利用者さまによる入院中の損害事故を保証するサービスです。



3 オリジナル患者衣 lifte (リフテ)

“心地よさ・デザイン性・機能性”を追求したCSセットのオリジナル患者衣ブランドです。

lifte
—— リフテ ——

- ☑ 甚平・浴衣・プルオーバーなどをラインナップ
- ☑ 肌触りがよく、柔らかい生地
- ☑ 現場の声を反映したケアしやすいデザイン

甚平・浴衣は全3色

- ピンクベージュ
- ダスクブルー
- バーガンディ



☎ 011-299-6745
(9:00~17:00)

✉ request@kkelan.com

株式会社エラン 本社 長野県松本市出川町15-12
0263-29-2680 (9:00~17:00)

【札幌支店】〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西1丁目2-6
NCO 札幌ビル 11F



ksmc.jp

医療を健康に。



株式会社
SMC

医療機器
販売

医療業務
サポート

医療関連
業務

SHIP HEALTHCARE GROUP

札幌本社	003-0027 北海道札幌市白石区本通3丁目北6番18号	TEL:011-862-4061 / FAX:011-862-4064
北見営業所	090-0834 北海道北見市とん田西町378番地 あいおいビル1F	TEL:0157-57-1672 / FAX:0157-57-1673
旭川営業所	079-8422 北海道旭川市永山12条2丁目6番9号	TEL:0166-76-1065 / FAX:0166-76-1005
函館営業所	041-0806 北海道函館市美原4丁目38番7号 エクセルコート美原A	TEL:0138-83-2252 / FAX:0138-83-2272
室蘭営業所	051-0022 北海道室蘭市海岸町3丁目2番3号	TEL:0143-83-7720 / FAX:0143-83-7723
釧路営業所	085-0013 北海道釧路市栄町9丁目9番地1 グラン釧路102	TEL:0154-64-9620 / FAX:0154-64-9621
帯広営業所	080-0301 北海道河東郡音更町木野大通西15丁目1-6 ビックマートD棟 201号室	TEL:0155-67-8855 / FAX:0155-67-8866
山形営業所	990-2464 山形県山形市高堂2丁目8-5 B号室	TEL:023-687-1316 / FAX:023-687-1316
仙台営業所	981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田100番1 スコアビル203	TEL:022-341-7408 / FAX:022-341-7409
青森営業所	039-3524 青森県青森市大字滝沢字下川原14番地1	TEL:017-737-0030 / FAX:017-737-0032
八戸営業所	031-0071 青森県八戸市沼館1丁目2-19	TEL:0178-51-8280 / FAX:0178-51-8281
秋田営業所	010-0042 秋田県秋田市桜2丁目27番30号	TEL:018-832-7140 / FAX:018-833-3129

Canon

日常生活の中で、臥位では症状が現れず、
立位や座位で症状が現れるケースがあります。
立位・座位撮影により、臥位撮影では得られなかった画像を提供し、
新たな診断価値を創出します。



臥位・立位・座位での撮影が可能なマルチポジション CT

Aquilion Rise



通常の撮影も行え、状況に合わせた
撮影が可能なフレキシブルな CT です。

【一般的名称】
全身用 X 線 CT 診断装置
【販売名】
CT スキャナ Aquilion Rise TSX-402A
【認証番号】
306ACBZX00036000

B001288

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

キングランが

お客様にあったお得な情報をお届け！

補助金・助成金 サポートいたします!!

こんなお悩みございませんか？

光熱費や
物価高騰が
続いている

自分達が
使える補助金が
わからない

何から
始めれば
いいの？

最新機器を
導入したい!

忙しくて手が
回らない...

申請方法が
わからない

そんなお悩みも、すべて解決します!

医療・福祉施設に特化したメガサポートプランにお任せください

3つのメガサポートポイント

POINT 1

補助金・助成金
の情報提供



POINT 2

専門家による
計画アドバイス



POINT 3

申請業務
サポート



メガサポート
プランの流れ

1 情報提供

補助金・助成金情報を無料で
ご提供いたします

2 見積提案
作成

導入したい備品・設備・施工
の見積提案いたします

3 申請業務
サポート

補助金・助成金の申請業務を
サポートいたします

4 発注
※採択後

採択後、発注から納品・施工
現場の管理等を行います

5 納品・施工
完了のご報告

完了後のメンテナンスも
対応いたします

Smile Communication

KINGRUN

キングラン株式会社
北海道支社

SHIP HEALTHCARE GROUP

札幌営業所

北海道札幌市手稲区新発寒 5 条 1 丁目 5-1

TEL 011-669-4400

FAX 011-669-6600

道東営業所

北海道帯広市大通南 27 丁目 16-1

TEL 0155-20-4400

FAX 0155-20-4433



<https://skk.jp/>

人と空気と水の 環境創造。



三建設備工業(株) 北日本支社 北海道支店

□ 北海道支店 札幌市北区北15条西2丁目1番1号 TEL(011)716-4266
□ 道内営業所 釧路 □ 出張所 帯広・旭川・函館・北見

大切な医療情報を守る 3つの約束、



ミライズ ファイブ
MI·RA·Is ^{FIVE} とは？



医療の未来を築く、MI·RA·Is V。

地域と患者のニーズに寄り添った高度な医療の提供、

サイバー攻撃、医療従事者の働き方など、

医療を取り巻く環境が、時代と共に変わりつつある昨今。

様々な変化する医療環境に対応するための進化が、ここに。

医療安全、仕事効率の向上、経営支援の3つの柱が、

一般的な電子カルテの常識を超え、未来志向の医療DXを実現。

標準機能の使いやすさに加え、最新テクノロジーが

織りなす安心・安全な医療を提供します。



GE HealthCare

コマンドセンター

Command Center

コマンドセンターは、病院内の多種多様なデータを包括的に解析・分析することで、患者フローに関わるオペレーション全体を把握し、最適化するソリューションです。電子カルテなど院内のデータを統合的かつリアルタイムに可視化し、タイムリーな意思決定に必要な情報を関係者で適切に共有することにより、入退院業務の効率化と病床管理の負担軽減および質の向上を支援します。



コマンドセンターに関するお問い合わせや、詳しい情報は
下記URLまたは右記のQRコードからアクセスください。

www.gehealthcare.co.jp/products/command-center



お問い合わせ

JB12542JA

SONY

BRAVIA
in Business

地域に期待され誕生した大型病院が 法人向けブラビア全 295 台を導入



外観イメージ (2025年撮影)

社会医療法人 社団 カレス サッポロ カレス記念病院

札幌市東区北 6 条東 3 丁目 1 番地 1 <https://caress-memorial.jp/index.html>



病室イメージ (パース)

業務用テレビ BT30K

遠隔診療の
可能性を広げる



75V型 65V型 55V型 50V型 43V型

- 法人向けブラビアは「Apple Airplay2/Chromecast built-in」の両キャスト機能に対応。HDMI ケーブルで接続することなく医師の端末から画面を転送・表示(ミラーリング)可能です。
- カレス記念病院では、医師に配布したiPhoneからミラーリングし、Web 面談や病院内での遠隔診療を可能にしています。
- 病室の広さや雰囲気にあわせ、法人向けブラビア「BT30K」(43V 型)などを計295台導入されました。

※ iPhone、Apple AirPlay 2は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です
※ Chromecast built-inはGoogle LLCの商標です

法人向けブラビアに関するお問い合わせは専用窓口まで

ソニーマーケティング株式会社

ご購入に関する相談は「法人のお客様向け購入相談デスク」

0120-30-1260 【受付時間】
月～金 10:00～18:00/土・日・祝日 休み
●携帯電話/一部のIP電話などご利用に慣れない場合がございます。

商品情報や仕様のお問い合わせは「ブラビア法人向け様のご相談窓口」

0120-67-6699 【受付時間】
月～金 10:00～18:00/土・日・祝日 休み
●携帯電話/一部のIP電話などご利用に慣れない場合 050-3754-9774

法人向けブラビアの商品情報や導入事例はこちら

sony.jp/bravia-biz/





病気になる。あるいは、健康への心配がある。

それだけで、人は日常から引き離されてしまう。

第一三共が掲げる「健康で豊かな生活」とはつまり、
すべての人が前向きに日々を生きられる、ということ。

わたしたちがサイエンス&テクノロジーで、
革新的モダリティ(治療手段)を追求するのも、そのためです。

健康につまずかない。そんなサステナブルな未来へ。

わたしたちは今日も、イノベーションの先にあるこたえをさがしています。

世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

たてものを、いきものに

建物に空気、水、電気を行き渡らせること。
それは、人々のかけがえのない暮らしや営みを支え、
活気がみなぎる建物の命を支えること。
そう心から信じる、私たち大成温調です。



大成温調株式会社は、たてものを「生み」「育み」、
一生涯の価値を高める総合たてものサービス企業です。

LIVZON 大成温調株式会社

東北支店

〒983-0852
宮城県仙台市宮城野区榴岡2-4-22
TEL.022-742-5055

北海道営業所

〒060-0042
北海道札幌市中央区大通西6-10-4
TEL.011-522-6281

コーポレートサイトを
ご覧ください





HOKUYAKU
TAKEYAMA
HOLDINGS

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

Medical Support Service Provider

生命と健康への貢献

「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」
という創業以来の使命感のもと
社会貢献度の高い仕事と誇りを持ち、日々努力を続けております。



血液浄化

低侵襲機器

内視鏡

整形外科

「専門領域に特化した支援・サポート」

眼科

脳神経外科

ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に
特化した専門担当部門を設けています。

テクニカルサポート

循環器

循環器外科

画像診断機器

KTK 株式会社 竹山

代表取締役社長 土田 拓也

本社／〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5

●ほくたけメディカルトレーニングセンター「ヴィレッジプラス」/札幌市中央区北11条西14丁目1番1号(ほくやくビル4F)・☎011-700-5833 <https://www.takeyama.co.jp/villageplus/>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

札幌圏	中央支店: ☎011-859-8714 北大支店: ☎011-859-8712 豊平支店: ☎011-876-8456 札幌ロジスティクスセンター: ☎011-859-8722	北支店: ☎011-789-1020 札幌医大支店: ☎011-859-8713 札幌業務センター: ☎011-859-8711	新札幌支店: ☎011-859-8717 西支店: ☎011-668-2526 HubiA物流センター: ☎011-676-6263
道央・道南圏	室蘭支店: ☎0143-45-1221 岩見沢支店: ☎0126-25-6992	苫小牧支店: ☎0144-53-2101 函館支店: ☎0138-83-5000	小樽支店: ☎0134-29-4524
道東・道北圏	釧路支店: ☎0154-25-2241 旭川支店: ☎0166-73-3011 空知支店: ☎0125-74-6005	北見支店: ☎0157-31-3224 旭川医大支店: ☎0166-73-3011 道北支店: ☎01654-3-9955	帯広支店: ☎0155-35-5800 旭川業務センター: ☎0166-73-3011
首都圏	東京支店: ☎03-3814-0103	横浜営業所: ☎045-232-3310	

☎011-611-0100(代表) <https://www.takeyama.co.jp>

安心・安全な医薬品供給をお約束するために
徹底した効率化とトレーサビリティにより
北海道全域の物流体制を担っています



TBC札幌（物流センター）

あらゆる医療環境を支援

当社は、病院・クリニックの開業支援から、
経営・業務改善・患者さまへのサービス向上までトータルにサポート。
医療現場の問題を解決します。



【北海道営業部】 北海道札幌市白石区米里4条2-2-1 TEL:011-879-7200

当社は東邦ホールディングス株式会社(東証プライム市場)の医薬品卸売事業子会社です。

西原のこころ

良心的で行き届いた
仕事をする

給排水衛生・冷暖房・消火設備

西原衛生工業所
N I S H I H A R A

札幌支店

執行役員支店長 鈴木 且洋

〒060-0042 札幌市中央区大通西9丁目1番地18 ソニー生命札幌ビル2F

<https://www.nishihara-eng.co.jp/> ☎011-261-3381

本社 〒108-6311 東京都港区三田3丁目5番27号 東京三田サウスタワー11階



NISHIMATSU

全西松



持続可能な地域の未来をともに描き、技術と情熱でかたちにする。
理想の病院づくりのベストパートナー



社会医療法人社団カレスサッポロ様カレス記念病院パース
設計：日揮（株）・西松建設（株）設計 JV
施工：西松・日揮・岩田地崎 特定建設工事 JV

エンジニアリング会社がハンズオンで導く病院改革

私たちの役割は、単に予算・品質・スケジュールを守って病院建物を建てることに留まりません。その先にある、病院経営の課題にも真正面から向き合い、解決に貢献することも大事な役割と考えています。

昨今の患者数の減少、物価・人件費の高騰、そして建築費の上昇などによって、老朽化した病院の建て替えがますます困難な状況が、全国で広がっています。

日揮は、エンジニアリング会社としての知見を活かし、病院に寄り添い、ハンズオンで経営改善に取り組む新たな挑戦を始めています。病院改革ならびに病院建設の伴走は、エンジニアリング会社にぜひ一度ご相談ください。

（無料相談は、下記 HP の問い合わせフォームから）

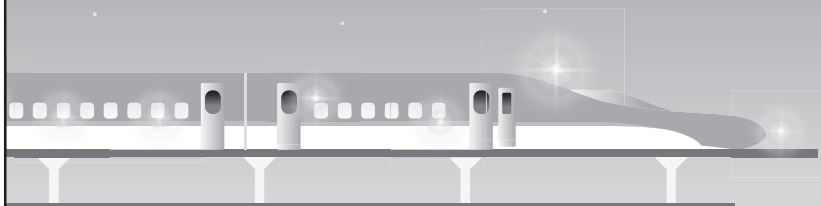
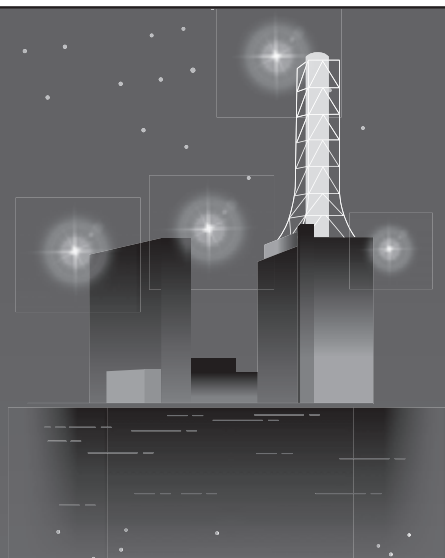
ひとも、まちも、すこやかに

Health X Engineering 日揮

URL: <http://www.jgc-healthcare.com>

E-mail: healthcare@jgc.com

インフラと暮らしを結び、快適な生活環境を創造



日本電設工業株式会社

本店：〒110-8706 東京都台東区池之端1-2-23
Tel.03-3822-8811(代表)



入院中も快適な環境で



私たちは病院向け製品を提供することで、患者さんだけでなく
病院スタッフの皆さまの快適を実現する企業です。

「患者さん直収システム」・「入院業務改善ツール」・「病室改修ファシリティー」
など満足の溢れる新しい環境の提供や、今までにないアメニティサービスの
創造に挑戦し、病院経営を総合的に支援する体制を整えています。

PERS Pay®

テレビ

冷蔵庫

Wi-Fi



入院業務改善ツール

マルチメディアテレビ

入院セットと同時受付

入院費用保証サービス

入院案内のデジタル化



～先を見通す知恵をかたちに～

PERS JAPAN CO., LTD.

株式会社パースジャパン

本社：〒113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 26 番 4 号 東京クリスタルビル

TEL：03-3814-6838（代） FAX：03-3814-2578

お問合せは下記まで

株式会社パースジャパン 札幌営業所

〒001-0037 北海道札幌市北区北 37 条西 4-3-12

藤井ビル N37 2 階 202

TEL：011-736-7035



URL：http://www.persjapan.co.jp

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

病院内インフォメーション

□ Web 面談（ミラーリング）

病室テレビの Chromecast/AirPlay を利用して担当医と患者さんとの間で Web 面談

□ 下図のようなホーム画面イメージで、各種インフォメーションのメニューを表示



病室内 4K 43 型液晶テレビ・ドメテック製 40L ガラス製ドア冷蔵庫



札幌市南区真駒内本町 6 丁目 5 番 2 号

株式会社ファイブ・ウェーブ

TEL011-585-3580



PHILIPS

**It's not just helium-free
MR operations.**

**It's excellent quality images
and patient-centric workflow.**

ヘリウムフリーのMR運用とAIによるタスクサポートにより
生産性の高い持続可能なMR検査体験を全ての人へ
Together, we make life better.

innovation  you

株式会社 フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

機 名 | フィリップス Ambition 1.5T
医療機器認証番号 | 231AFBZX00015000
設置管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
管理医療機器

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V.
またはその他の会社の商標または登録商標です。
© 2022 Koninklijke Philips N.V.

生産性向上

介護テクノロジー

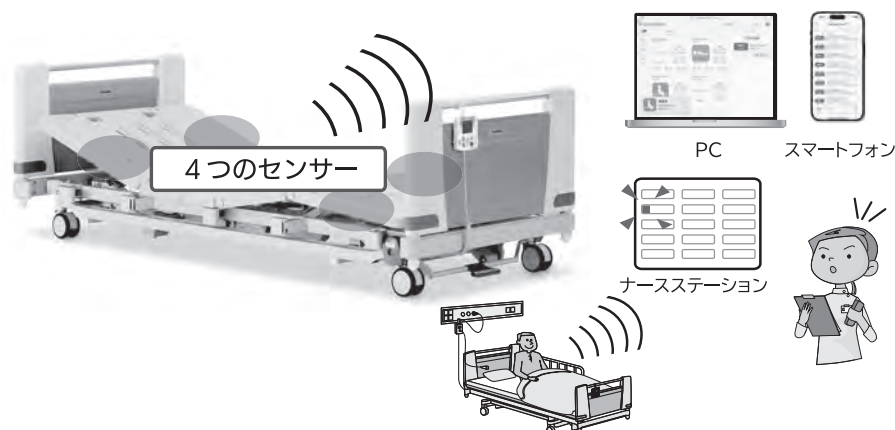
ベッド内蔵 見守りケアシステム M-2R



NEW

ベッドがご利用様の状態と安全を見守り、介助負担を軽減します。
ベッド内蔵のセンサーがご利用者の状態や体動、離床動作を検知し、
ナースコール、パソコン、スマートフォンへ通知します。

point



簡単操作設定

一時停止からの自動復旧

体重測定機能

ベッド内蔵で足元安全

訪室回数の低減

オプション 呼吸・脈拍数

周辺温湿度

業界最多! 5つの通知モード。ベッド上の動きをお知らせします。

1. 動き出し
モード

2. 起上がり
モード

3. 端座位
モード

4. 離床
モード

5. 離床管理
モード

離床した時も再度通知します。



無線 LAN(Wi-Fi) 対応

見える化

スマートフォン、タブレット、複数のPCでリアルタイムに情報共有、操作が可能。
タイムリーなケア、リスク予測管理、ケアの質の向上、職員様の負担軽減につながります。

PC

複数のPCから、リアルタイムでモニタリングできます。



リアルタイムでモニタリング



生活リズム



体重履歴

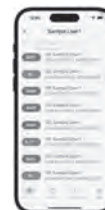
スマートフォン

リアルタイムでモニタリング。

アプリで見守りモードの設定変更ができ、
業務省力化がはかれます。



体重履歴



オプション表示

※ベッドの機種により表示項目が異なります。

FranceBed 法人札幌営業所 TEL 011-252-1560
フランスベッド株式会社



hj_sapporo@francebed.jp

医療・福祉施設向け製品
ホームページはこちら



誰もが安心できる医療・福祉のために
わたしたちは清潔を提供いたします。



医療を取り巻く環境は、高齢化社会に備えての体制づくりに年々変化を続けております。
当社は昭和38年に医療機関の基準寝具制度が発足されて以来、医療・福祉施設専門のリネン
サプライとして歩んでまいりました。

今日では数多くの施設より厚く信頼をいただき、これらの実績とノウハウを生かした、医療・
福祉関連業界に適応した専門洗浄システムを確立いたしております。

また、院内感染（特にMRSA）、老人福祉の在宅ケア、ホームヘルプの医療・介護に関わる諸
問題にも積極的に対応し全ての人に快適なホスピタリティ環境を提供できるよう研究、開発、
提案を続けてまいります。

■当社のサポートライン

- 医療寝具のリース、洗浄、消毒
- ベッド、リネン類の販売、リース、洗浄、消毒
- 白衣、ユニフォーム、病衣の販売、リース、洗浄、消毒
- 介護用品、日用雑貨の販売



医療関連サービスマーク認定証

当社は財団法人医療関連サービス振興会が医療関連サービス制度により
厚生省の定める基準に適合し、医療関連サービスの認定を受けた施設で
す。

お問い合わせは



株式会社 北基サービス

事業本部・工場／〒061-1274 北広島市大曲工業団地6丁目1番地7 TEL.011-377-8610
〈本 社／〒003-0022 札幌市白石区南郷通1丁目南7番14号 TEL.011-864-6837〉

<http://www.hokki-service.co.jp>

医療・健康ニーズに応じて、
人々の健康・福祉に
いっそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。



持田製薬株式会社

<https://www.mochida.co.jp/>



社会医療法人 社団

カレス サッポロ

原点から考えなおす保健・医療・福祉
～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～

理事長 大城 辰美 〒060-0906 札幌市東区北6条東3丁目1番地1 TEL:011-777-1331 <http://www.caress-sapporo.jp/>

カレスサッポログループ

安心と快適を、愛と信頼の医療で。



北光記念病院と時計台記念病院は
「カレス記念病院」へと統合移転しました

2025年4月開院

カレス記念病院

院長 浅香 正博

■診療科目

内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科
腎臓内科・糖尿病内科・外科・消化器外科
呼吸器外科・心臓血管外科・血管外科・乳癌外科・整形外科
形成外科・脳神経外科泌尿器科・婦人科・眼科
放射線科・麻酔科・リハビリテーション科
病理診断科・腫瘍内科・緩和ケア内科・救急科

札幌市東区北6条東3丁目1-1

☎ 011-777-1011

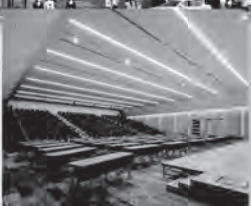
<https://caress-memorial.jp>



専門・急性期医療の充実



感染症対策の取り組み



250人以上収容可能な酸素設備

ハイブリッドオペ室の導入

感染症対策としての全床個室

災害時にも耐える電気と水道

外来は専門外来・紹介外来に特化

病棟一部を陰圧エリアに

ツルハドラッグと提携した安心の備蓄



介護老人保健施設 けあ・ばんけい

施設長 望月 秀克

- 介護老人保健施設
- 短期入所療養介護
- 通所リハビリテーション
- 訪問リハビリテーション

札幌市中央区盤渓232-7

☎ 011-615-9623

<http://www.carebank.jp/>



地域包括ケア拠点施設 カレスプレミアムガーデン

安心の医療と快適な介護
プレミアムな老後をあなたに

- 住宅型有料老人ホーム
カレス プレミアムガーデン

札幌市東区北12条東4丁目1番1号

☎ 011-722-3330

<http://www.p-garden.jp/>



よつば家庭医療クリニック

所長 小西 徹夫

■診療科目

内科・小児科・緩和ケア内科
○訪問診療も行っております

札幌市東区北12条東4丁目1番1号
(カレス プレミアムガーデン1F)

☎ 011-722-7700

<http://www.yotsubacl.jp/>



ソフィア北円山クリニック

所長 佐々木 茂

■診療科目

内科・乳腺外科・小児科
婦人科・眼科

札幌市中央区北4条西18丁目3番地1

☎ 011-624-8370

<http://sophia-kclinic.jp/>

在宅医療福祉支援センター

- 居宅介護支援事業所 カレス介護相談センター TEL(011)722-3335
- カレス訪問看護ステーション TEL(011)722-2522

札幌市東区北12条東4丁目1番1号(カレス プレミアムガーデン内)

- カレスヘルプステーション TEL(011)722-2511
- カレスデイサービスセンター TEL(011)722-3337
- カレス定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所 TEL(011)722-3336

熊出没注意!!



札幌市

2025年札幌市の熊目撃情報:279件

(2025年10月21日現在)

北海道では
[ヒグマが市街地に頻繁に出没]
[ヒグマによる人身事故が発生]した場合
SNSなどを活用して、ヒグマ注意報や
ヒグマ警報の情報を発信しています





Japanese Association for Health Care Administrators
一般社団法人日本医療経営学会

第24回 日本医療経営学会 学術集会・総会 事務局

電話 : (011) 777-1331 FAX: (011) 558-2332

URL : <https://jaha-sapporo.com/>